

令和 7 年度

中頓別町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書
(ダイジェスト版)

令和 8 年 7 月

中頓別町教育委員会

は じ め に

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに町民に対する説明責任を果たすために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和7年度の教育委員会の活動状況や事務事業の点検・評価を実施し、報告するものです。

この点検・評価は「第8期中頓別町総合計画（令和4年4月1日～令和14年3月31日）」の基本計画中、「第4章 目指す未来」に定める施策に沿って、毎年度、点検・評価を実施することとしています。

教育委員会としては、この点検・評価の結果を事業改善等に役立てながら、課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図りたいと考えていますので、今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年7月

中頓別町教育委員会

（参考） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 教育委員会の会議の開催状況	1
2. 教育委員の活動状況	3
3. 法規・規則の制定、計画等の策定状況	8
4. 附属機関等の審議概要	9
5. 令和7年度教育目標並びに施策の体系	11
(1) 中頓別町教育推進計画	12
(2) 第8期中頓別町総合計画	13
6. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性	
(1) 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり	15
① あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実	
② 自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実	
(2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり	23
① 自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進	
② 特色ある教育活動の推進	
(3) 大人も一緒に学べるまちづくり	27
① 生涯教育の推進	
② いくつになっても楽しく参加できる文化スポーツ活動の推進	
(4) 別紙資料	
別紙1 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績	35

【資 料】

○宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況	44
○社会教育関連施設の利用状況	45
○教育関係団体活動状況	
・体育団体関係	49
・文化団体関係及びその他教育関連団体関係	50

1. 教育委員会の会議の開催状況

中頓別町教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回開催しています。

この会議において、3名の中頓別町教育委員会委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議しています。

日 時	付 議 案 件 等	
7. 4. 17 (木)	議案	・学校運営協議会委員（認定こども園）の委嘱について ほか6件
	協議	・5月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 5. 26 (月)	議案	・特別支援教育連携協議会委員の委嘱について ほか4件
	協議	・6月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか3件
7. 6. 26 (木)	議案	・特別支援教育就学奨励費の認定について
	協議	・7月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 7. 28 (月)	議案	・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会支援委員 の委嘱について
	協議	・8月定例教育委員会議について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 8. 28 (木)	議案	・令和7年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への 市町村別結果の掲載について ほか3件
	協議	・9月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 9. 24 (水)	議案	・教育長職務代理者の指定について
	協議	・10月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 10. 10 (金)	議案	・中頓別町文化スポーツ表彰者について
7. 10. 22 (水)	承認	・専決処分の承認を求めることについて 「英語力育成事業に係る外部検定試験経費補助事業実施要綱の一 部を改正する規則の制定について」
	協議	・11月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 11. 19 (水)	議案	教職員の不祥事について

7. 1 1. 2 8 (金)	議案	・中頓別町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について ほか1件
	協議	・12月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 1 2. 1 7 (水)	協議	・1月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
8. 1. 2 9 (木)	議案	・令和6年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について ほか4件
	協議	・2月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
8. 2. 2 6 (木)	議案	・令和8年度教育行政執行方針について ほか9件
	協議	・3月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか9件
8. 3. 2 3 (月)	議案	・中頓別町立中頓別学園に係る学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について ほか7件
	協議	・4月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件

中頓別町教育委員会委員名簿

役 職 名	氏 名	任 期
教育長	大島 朗	R6.7.1～R9.6.30
教育長職務代理者	小倉 弘	R7.11.1～R11.10.31
教育委員	小倉 弘	R7.11.1～R11.10.31
教育委員	澤里 優	R4.12.22～R8.12.21
教育委員	長尾 祐一	R6.10.1～R10.9.30

2. 教育委員の活動状況

教育委員は、月1回の定例会やこども園、小・中学校の各種行事及び社会教育関係の行事へ出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

日付	曜日	活 動 内 容	場 所	出席委員名
4・1	火	認定こども園入園式	こども園	町長、教育長他
4・4	金	着任教職員辞令伝達式	町民センター	町長、教育長他
4・5	土	夢と希望と感動体験事業（レバンガ観戦）6日まで	きたえーる	社教他
4・8	金	中頓別中学校入学式	中中	副町長、教育長、議員ほか
		浜頓別高校入学式	浜頓別高校	教育長
4・10	木	中頓別小学校入学式	中小	副町長、教育長、議員ほか
4・11	金	管内教育長会議・管内校長会議	宗谷教育局	教育長
4・17	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
4・18	金	放課後子どもプラン開校式	町民セ	教育長、社教ほか
4・21	月	ハワイ語学研修実行委員会	町民セ	教育長、小中管理職ほか
4・23	水	社会教育委員会	町民セ	教育長、次長、社教ほか
4・25	金	学園整備工事安全祈願祭	小学校	町長、教育長ほか
5・8	木	ハワイ語学研修説明会	町内セ	教育長、次長ほか
5・10	土	町クリーン作戦	町内	教育長、次長ほか
5・18	日	消防団春季演習	消防署	教育長、宮崎校長
5・19	月	第4回臨時議会	役場	教育長、次長
5・21	水	第1回管内学力保障会議	オンライン	教育長
5・22	木	スポーツ推進委員会	町民セ	教育長、社教ほか
5・25	日	町長杯町民パークゴルフ大会	寿PG場	教育長、社教ほか
5・26	月	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
5・28	水	東京学芸大学連携協定締結式	役場	町長、教育長ほか
		管内コンプライアンス確立会議	オンライン	教育長
5・30	金	町育英会役員会・総会	町民セ	町長、教育長ほか
6・6	金	教科書展示（～6/25）	町民セ	
6・7	土	中頓別中学校運動会	中中G	町長、次長ほか
6・9	月	管内教育委員会連絡協議会総会	オンライン	教育長
6・10	火	文化協会総会	町民セ	教育長、石井
6・12	木	中学校学校経営指導訪問	オンライン	教育長、指導主事ほか

6・14	土	小学校運動会	中小G	町長、教育長ほか
6・16	月	中学校学校教育指導訪問	中学校	教育長、指導主事
6・18	水	第2回定例議会（～20日）	役場	教育長、次長
6・22	日	町民ソフトボール大会	町営G	教育長、次長ほか
6・25	水	小学校学校経営訪問	オンライン	教育長、指導主事
6・26	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長、次長ほか
6・28	土	こども園運動会	こども園	教育長、指導主事
7・1	火	中学校学校経営指導訪問	中学校	教育長
7・2	水	浜頓別高校学校運営協議会	浜頓別高校	教育長、小倉委員
7・9	水	子ども支援ネットワーク会議	こども園	教育長ほか
7・10	木	スポーツ推進会議	町民セ	教育長ほか
7・11	金	第2回管内教育長会議	オンライン	教育長
		文化協会祭	町民セ	教育長、社教ほか
7・14	月	全国市町村教育長会議	オンライン	教育長
7・17	木	全道市町村教育委員会研修会	札幌	教育長、小倉委員
7・28	月	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
8・2	土	北緯45度夏祭り		
8・5	火	臨時議会	役場	教育長、次長
		ハワイ語学研修出発（12日帰町）	町民セ	教育長、次長ほか
8・20	火	交通事故死亡者慰霊祭	町内	教育長
		檜原民之助氏等慰霊祭、物故吏員法要	町内	教育長
8・28	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
		学力保障会議	オンライン	次長
9・4	木	文化祭実行委員会	町内	教育長ほか
9・5	金	臨時管内教育長会議	オンライン	教育長
9・7	日	第46回町民駅伝大会	町内	教委事務局
9・9	月	第3回定例町議会（12日まで）	役場	教育長、次長
9・13	土	夢と希望の感動体験事業（～14日）	エスコンF	社会教育
9・17	水	学校運営協議会（2校1園合同）	町民セ	教育長ほか
		サイバー協定締結式（枝幸警察署）	役場	教育長、次長ほか
9・19	金	全道緊急不祥事防止対策会議	オンライン	教育長
9・24	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
9・25	木	敬老会	町民セ	教育長

9・29	月	管内市町村教育委員会研修会	オンライン	教育長、小倉委員 澤里委員
9・30	火	管内幼児教育振興ネットワーク会議	オンライン	次長、保健福祉課長
10・1	水	第2回文化祭実行委員会	町民セ	教育長、社会教育
		芸術文化講演事業「和心ブラザーズ」	学校体育館	教育長ほか
10・2	木	1日防災学校・合同避難訓練	小中学校	教育長ほか
10・3	金	管内市町村教育委員会訪問	オンライン	教育長、次長
10・6	月	学校教育指導訪問	中小	教育長
10・7	火	社会教育委員会議	町民セ	教育長、次長、社会教育
10・15	水	全道教育長部会研修会	札幌	教育長
10・17	金	臨時議会・常任委員会	役場	教育長、次長
10・18	土	中中学校祭	中中	町長、教育長ほか
10・22	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
10・23	木	外部評価委員会	役場	教育長、次長
		教育局人事協議	稚内	教育長
10・24	金	文化祭実行委員会	町民セ	教育長ほか
10・25	土	中小学習発表会	中小	教育長、指導主事
11・2	日	町民文化祭（～3日）	町民セ	教育長ほか
11・10	月	学校経営指導訪問	小中学校	教育長
11・11	火	人生100年学びの場づくりセミナー①	町民セ	教育長ほか
11・13	木	通学路安全推進会議	町民セ	教育長ほか
11・19	水	中頓別・浜頓別合同学校経営研	町民セ	教育長、次長、指導主事
11・21	金	町研大会	小中学校	教育長
11・26	水	中頓別・浜頓別合同学校経営研修	浜頓別町	教育長、次長、指導主事
11・26	火	人生100年学びの場づくりセミナー②	町民セ	教育長ほか
11・28	金	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
		総合教育会議	町民セ	教育長ほか
12・1	月	浜頓別高校との懇談	町民セ	教育長
12・6	土	管内スポーツ推進委員研修会	町民セ	教育長ほか
		町身体障がい者福祉協会年末交流会	町内	教育長
12・9	火	子ども支援ネットワーク会議	こども園	教育長ほか
12・10	水	定例議会（～12日）	役場	教育長、次長
12・16	火	冬季スポーツ推進関係者会議	町民セ	教育長、社会教育

12・17	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
		教育長会議	オンライン	教育長
12・19	金	寿スキー場安全祈願祭	寿スキー場	教育長、次長ほか
12・20	土	寿スキー場オープン	寿スキー場	
12・25	木	教育支援委員会	町民セ	教育長ほか
12・26	金	学校運営協議会・社会教育委員会議合同会議	町民セ	教育長ほか
1・4	日	新年交礼会	役場	
1・5	月	消防出初式	町民セ	
1・12	日	20歳を祝う会	町民セ	教育長ほか
		ジュニア・キッズ・一般スキー教室（～19日）	寿スキー場	教育長、社会教育
1・29	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
2・3	火	臨時議会	役場	教育長、次長
2・12	木	管内教育実践表彰・道教育実践表彰伝達式	中小	教育長ほか
		歩くスキー教室（～26日）	寿スキー場	教育長、社会教育
2・13	金	臨時校長会議・教頭会議	オンライン	教育長、次長、指導主事
2・14	土	宗谷校長会勇退感謝会	稚内	教育長
		こども園生活発表会	こども園	教育長
2・15	日	中頓別町厳冬期防災訓練	町民セ	教育長ほか
2・18	水	こども支援ネットワーク会議	こども園	教育長ほか
		全道情報機器整備共同調達会議	オンライン	教育長
		浜頓別高校学校運営協議会	浜頓別高校	教育長
2・19	木	スポーツ推進委員会議	町民セ	教育長ほか
2・25	水	管内学力保障会議	オンライン	教育長
2・26	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
		教育委員学校訪問	こども園・学校	町長、教育長ほか
3・1	日	スノーフェスティバル	寿スキー場	教育長、全職員
		浜頓別高校卒業式	浜頓別高校	次長
3・2	月	小中合同同窓会役員会	町民セ	次長、指導主事
3・5	木	第4回管内教育長会議	オンライン	教育長
3・6	金	第1回定例議会（16～19日）	役場	教育長、次長
3・15	日	中頓別中学校卒業式	中中	町長、教育長他
3・16	月	放課後プラン閉講式	町民セ	教育長、社教担当

3・18	水	フリースクール卒業式	町民セ	教育長、指導主事
3.19	木	中頓別小学校卒業式	中小	町長、教育長他
3・23	月	定例教育委員会議	町民セ	教育長ほか
		学校運営協議会	町民セ	教育長ほか
3・26	木	臨時議会	役場	教育長、次長
3・27	金	こども園卒園式	こども園	町長、教育長ほか

3. 法規・規則等の制定、計画等の策定状況

令和7年度に改正または制定された教育関係規則の数は19本です。

なお、法規、規則等の制定の状況は次のとおりです。

(1)教育委員会規則

題 名	公布年月日	施行年月日
中頓別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	R07.05.09	R07.05.09
英語力育成事業に係る外部検定試験経費補助事業実施要綱の一部を改正する要綱	R08.05.01	R08.05.01
中頓別町立学校設置条例の一部を改正する条例	R07.12.15	R08.04.01
中頓別町いじめの防止等に関する条例の一部を改正する条例	R08.03.25	R08.03.25
中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則	R08.01.29	R08.04.01
中頓別町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則	R08.02.26	R08.04.01
中頓別町学校給食運営委員会規則の一部を改正する規則	R08.02.26	R08.04.01
中頓別町臨時職員の採用に関する規則の一部を改正する規則	R08.02.26	R08.04.01
中頓別町教育支援委員会設置規則の一部を改正する規則	R08.02.26	R08.04.01
中頓別町特別支援教育連携協議会設置要綱の一部を改正する要綱	R08.02.26	R08.04.01
中頓別町子どもの読書活動推進会議設置要綱の一部を改正する要綱	R08.02.26	R08.04.01
スクールバス運行基準の一部を改正する訓令	R08.02.26	R08.04.01
中頓別町学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則	R08.03.23	R08.04.01
中頓別町郷土資料館管理運営規則の一部を改正する規則	R08.03.23	R08.04.01
中頓別町立学校職員服務規程の一部を改正する規程	R08.03.23	R08.04.01
中頓別町立小中学校出席停止の手続きに関する要綱の一部を改正する要綱	R08.03.23	R08.04.01
海外英語研修補助事業実施要綱の一部を改正する要綱	R08.03.23	R08.04.01
中頓別町夢と希望を！感動体験事業実施要綱の一部を改正する要綱	R08.03.23	R08.04.01
中頓別町就学援助認定要領の一部を改正する要領	R08.03.23	R08.04.01

4. 付属機関の審議概要

中頓別町教育委員会に設置している主な付属（審議）機関は、次のとおりです。

令和7年度には各機関等において、諮問された次の審議事項について、答申等に向けた協議、検討が行われました。

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
社会教育委員会 R7. 04. 01～R9. 03. 31 ※定数10名以内	10名	07. 04. 23	○報告 なし ○協議 ・令和7年度社会教育及び社会体育事業計画（案）について ・令和7年度社会教育及び社会体育予算について ・令和6年度社会教育事業・団体補助金に関する諮問・答申について
		07. 10. 07	○報告 なし ○協議 ・令和7年度文化スポーツ表彰について
		08. 03. 16	○報告 ・令和7年度社会教育・社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和8年度の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）
スポーツ推進委員会 R7. 04. 01～R9. 03. 31 ※定数15名以内	11名	07. 05. 22	○報告 ・令和7年度社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和7年度事業計画（案）及び予算説明について ・令和7年度社会体育予算について
		07. 07. 10	○報告 ・令和7年度社会教育・社会体育事業について（4月～6月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（6月～12月）
		08. 02. 19	○報告 ・令和7年度社会教育・社会体育事業実施報告 ・令和8年度社会教育・社会体育事業計画案 ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町特別支援教育 連携協議会 R7.04.01～09.03.31 ※関係団体・機関等 から15名以内	12名	07.04.27	○総会 ・令和6年度活動報告、決算報告 ・令和7年度事業計画、予算の承認
		07.10.04	○講演会・学習会（町P連子育て講演会） ・日本PTA研究大会宗谷稚内大会に参加
		07.12.25	○教育支援委員会 ・学びの場の段階的検討 ・実施要綱等の見直し検討 ・児童相談所の巡回相談実施
合同学校運営協議会 R7.04.01～R9.03.31	24名	07.09.17	○第1回合同学校運営協議会 ・中頓別子ども園運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別小学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別中学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・質問・意見 ・学校運営方針・具体的取組の承認 ・新しい学校づくりについて
		07.12.26	○第2回合同学校運営協議会 ・中頓別学園の準備状況について ・新しい学校づくりについて（施設の進捗状況） ・質問・意見
		08.3.23	○第2回合同学校運営協議会 ・中頓別学園運営方針・具体的取組 ・新しい組織体制に向けた検討 ・新しい学校づくりについて（施設の進捗状況） ・質問・意見
中頓別町文化財保護委 員会 R7.04.01～R9.03.31 ※定数7名以内	4名	07.05.30	調査活動（高山植物群生調査 5/30）
中頓別町育英会 07.05.30～09総会まで ※会長1・副会長1 理事若干名・監事 2名	8名	07.05.30	○役員会及び総会 ・令和6年度育英会貸付業務等の報告 ・令和6年度収支決算・監査報告 ・令和7年度の貸付者の選考審査・予算の決定 ・令和7年度の収支予算案の決定 ・役員の改選

5. 令和7年度教育目標並びに施策の体系

(1) 中頓別町教育推進計画

基本理念：共生 好奇心 共創

(2) 教育推進に係る学校等の具体的な取組の総括

(3) 第8期 中頓別町総合計画（抜粋）

※別紙「第4 目指す未来」を参照

中頓別町教育推進計画 体系図

基本理念

【共生】 まざる・きく・はなす

- ・どんな人、どんな子ともよい人間関係を築き、支えあえる教育の推進
- ・英語を通して、国際理解を深め、ふるさとを知り見つめ直す教育の推進
- ・いじめを 방지、どの子にも居場所があり、みんなで支えあえる教育の推進

【好奇心】 わくわくする

- ・こども園から中学までの一貫した確かな学力と健やかな体を育む教育の推進
- ・中頓別の豊かな自然を生かし、学びたいことを自ら探求できる教育活動の推進
- ・個に応じて豊かな自然の恩恵を享受しながら学び、やさしさ、たくましさ、好奇心を育む教育の推進

【共創】 一緒にやってみる

- ・学校と地域が連携し、協働して子どもを育む体制づくり
- ・芸術文化活動やスポーツを推進し、いつまでも元気で楽しく暮らせる町づくり
- ・一人一人の「やりたい」「知りたい」をみんなでかなえられる環境づくり

17の施策項目

1	SDG s ・ ESDの推進
2	幼児教育の充実
3	新しい時代に必要となる資質・能力の育成（義務教育学校）
4	特別支援教育の推進
5	STEAM教育の推進
6	体力・運動能力の向上
7	健康教育・食育の充実
8	キャリア教育の充実
9	道徳教育の充実
10	グローバル人材の育成
11	いじめ防止の取り組みの充実
12	不登校児童生徒への支援の充実
13	働き方改革の推進
14	地域と学校の連携・協働の推進
15	学びのセーフティネットの構築
16	生涯学習・社会教育の振興
17	安全・安心な教育環境の構築

第8期 中頓別町総合計画

令和4年4月1日～令和14年3月31日

※抜粋

第4 目指す未来

＜第8期計画の施策体系別基本方針＞

教育 将来を生きる力を育むまち

1. 幼小中を通して生きる力を育む

まちづくり

(1) あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

幼小中一貫とする隙間のない教育の機会を確保し、教育機関が連携できる環境をつくります。



＼取り組みとなる主な事務事業／

- ・認定こども園事業
- ・地域子育て支援センター事業
- ・こどもセンター事業

(2) 自ら学び自ら考える力を育てる

学校教育の充実

新しい校舎づくりと運営体制を整えるため、その学習機会を提供する土台づくりとなる施設整備をしっかりと推進します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・教育研究指定校委託事業
- ・教職員健康診断委託事業
- ・教育研究会運営事業
- ・特別支援教育連携協議会運営事業
- ・就学奨励事業

- ・小学校教育振興事業
- ・中学校教育振興事業
- ・中学校改築等推進事業

2. 子どもたちがいずれはまちに戻ってきた

いと思える気持ちを育てるまちづくり

(1) 自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進

子どもたちが将来社会人になるときにこの町で暮らしたいと考えてもらえるよう、ふるさと教育の提供に努めるとともに、現児童生徒が卒業生と交流し、どんな社会人を目指せるように考えられる機会の提供づくりを目指します。

また、新しい学校づくりと連携して、どの年齢期においても生涯学習の機会をしっかりと提供できる取り組みを目指します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業
- ・青少年健全育成事業
- ・社会教育推進事業【再掲】

(2) 特色ある教育活動の推進

外国語の学力向上を目指すため、資格検定受検者をサポートするとともに、外国文化との交流を推進するための機会提供に努め、よその自治体にはない教育環境を整えます。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

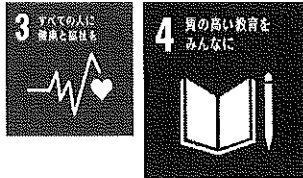
- ・外国青年招致事業
- ・英語力育成事業

- ・学習習慣育成事業補助事業
- ・学校給食事業（給食費無料）

3. 大人も一緒に学べるまちづくり

(1) 生涯教育の推進

全ての町民がいくつになっても学習をする機会を確保し、異世代交流などによる生涯学習を推進します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・生涯学習推進事業
- ・社会教育推進事業
- ・なかとんべつ子ども読書プラン事業
- ・文化財保護事業
- ・社会教育関連施設運営業務

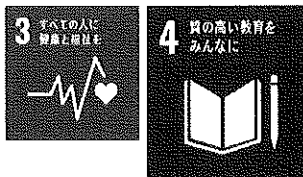
(2) いくつになっても楽しく参加できる

文化・スポーツ活動の推進

優れた芸術鑑賞の機会提供と、文化団体・サークル活動の支援を図ります。

町民のスポーツ振興に向けた設備環境を積極的に確保し、各年齢期が活躍できるようスポーツ団体の支援を図ります。

また、各種教室や大会等イベント開催を連携して充実を図ります。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・町民文化活動推進事業
- ・スポーツ推進事業
- ・町民各種スポーツ大会等運営事業
- ・冬季スポーツ教室等運営事業
- ・スポーツ関連施設運営業務

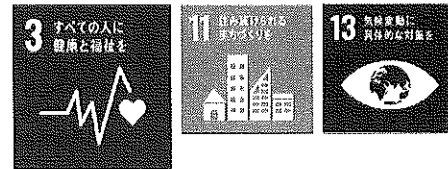
環境 美しい自然を守り共生するまち

1. ふるさとの自然に誇りが持てる

まちづくり

(2) ふるさとの自然に誇りをもてる環境教育の推進

豊かな自然環境を活かした環境学習や教育活動に取り組みます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・そうや自然学校事業
- ・森のこども園

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

①あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性																					
認定こども園事業	急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、小学校就学前の子どもに幼児教育・保育等総合的に提供する。 【入所人員】 <table><tr><td></td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>・0歳児</td><td>4名</td><td>3名</td></tr><tr><td>・1・2歳児</td><td>10名</td><td>12名</td></tr><tr><td>・3歳児</td><td>8名</td><td>5名</td></tr><tr><td>・4歳児</td><td>5名</td><td>8名</td></tr><tr><td>・5歳児</td><td>8名</td><td>4名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>35名</td><td>32名</td></tr></table> うち短時間利用児 5名 3名		R6	R7	・0歳児	4名	3名	・1・2歳児	10名	12名	・3歳児	8名	5名	・4歳児	5名	8名	・5歳児	8名	4名	合 計	35名	32名	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的に行い、またリニューアルした「園庭」を利活用することで遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきた。 また、年長児を対象にALTとの「英語であそぼう」を進展させ、英語劇の発表を行うとともに、年長児以外のクラスにもALTが入って一緒に遊び生活することで日常的に英会話に親しむ取り組みを行った。 ○◇職員一人ひとりが、子どもの発達や学びの連続性を理解し、きめ細かな指導や見通しをもった計画の充実を図った。また、保護者が安心して子育てできるよう、助産師や保健師と月1回の定期的な情報共有を行い、効果的な子育て支援体制構築に取り組んだ。他に、子ども支援ネットワーク会議を主管し幼小中、教育委員会、保健福祉課との情報共有を進め、行動連携につなげることができた。 ○全ての園児の育ちを支える「ちゅらすと」～個別の指導計画の取組について保護者と2回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有した。また、小中学校と同じフォーマットの個別の支援計画を作成し、幼小中連携した個別の支援を進めている。 ◇「こども発達支援センター『くれよん』」の運用及び、個別の発達支援を進めている。 また、「なかとんべつ学園」設立をめざして、アプローチカリキュラムを作成し、小学校へのスムーズな接続に取り組んだ。 ◇今後も職員の専門性を十分生かし、こども園が保護者の良きパートナーとなり、積極的にサポートしながら、地域全体の「子育て力」の向上に努めていくことが大切。	○幼小中一貫した中頓別学園の教育を見据え、主体性や判断力、協働する力の基礎を育むことを目的として、自然環境を生かした「森のこども園」の活動を継続的に実施した。また、リニューアルした園庭を積極的に活用することで、子どもたちが自ら遊びを選び、考え、友だちと関わりながら活動する姿が多く見られ、遊びを通して体力の向上やコミュニケーション能力の育成につながった。 ◇自然体験活動の価値や育ちの姿について、熊対策も含めた安全管理について、保護者や地域へ継続的に発信し、教育・保育への理解を一層深めていく必要がある。 ○年長児を対象としたALTとの活動では、「英語であそぼう」を継続しながら、歌やゲーム、表現活動などを取り入れ、楽しみながら英語に親しむ機会の充実を図った。また、英語劇の発表を通して、子どもたちが自信をもって表現する姿や、友だちと協力して取り組む姿が見られた。さらに、年長児以外のクラスにおいてもALTが日常的に保育へ参加し、一緒に遊んだり生活したりする中で、自然に英語の音や言葉に触れる環境づくりを進め、幼児期から異文化やコミュニケーションへの興味・関心を育む取組を行った。 ○◇職員一人ひとりが、子どもの発達や学びの連続性について共通理解を深め、日々の育ちや姿を丁寧に捉えながら、個に応じたきめ細かな援助や見通しをもった教育・保育計画の充実を図った。また、こども園、小学校、中学校、教育委員会、保健福祉課で構成する子ども支援ネットワーク会議を定期開催し、情報共有と支援方針の共通理解を図ることで、子ども一人ひとりに応じた切れ目のない支援や具体的な行動連携につなげることができた。 ○全ての園児の育ちを支える「ちゅらすと」の取組として、個別の指導計画に基づく支援を進めるとともに、保護者との懇談の機会を継続的に設け、子どもの成長や発達の様子、支援の方向性について丁寧に共有を図った。懇談を通して、家庭と園が子どもの姿を共通理解しながら連携して支援を進めることができ、保護者の安心感や信頼関係の構築につながった。 ◇「こども発達支援センター『くれよん』」から、「子ども支援センター」への移行を進めてきている。 ○「なかとんべつ学園」の教育理念や育てたい子ども像を踏まえ、幼小の教職員が相互理解を深めながら接続期の教育について協議を重ねることで、子どもの育ちを切れ目なく支える体制づくりを進めることができた。 ◇「なかとんべつ学園」との接続や地域資源を生かした特色ある教育・保育活動を推進し、子どもたち一人ひとりが安心して挑戦し、豊かに成長できる環境づくりを継続していく。
	R6	R7																						
・0歳児	4名	3名																						
・1・2歳児	10名	12名																						
・3歳児	8名	5名																						
・4歳児	5名	8名																						
・5歳児	8名	4名																						
合 計	35名	32名																						

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(1) 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

①あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度	
		○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
地域子育て支援センター事業	すべての子育て家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談や援助の実施。子育て家庭の交流の場の提供及び促進を図る。 【取り組み内容】 ・あそびの広場 ・育児相談 ・絵本貸出 ・子育て講演会 ・子育て講座（年8回） ・情報の提供	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできた。特に子育てサロンを月1回開催し、職員が輪番で対応した。	○職員の専門性を生かしながら、地域の子育て家庭や妊婦を対象とした交流の場や相談機会の充実を図り、安心して利用できる環境づくりに取り組んだ。特に、子育てサロンを定期的に開催し、職員が輪番で関わることで、保護者が気軽に相談できる体制づくりや、子育てに対する不安の軽減につなげることができた。 ○絵本の貸し出しを行うことにより、家庭での読み聞かせを通して愛着の形成を促す取り組みを行ってきた。 ◇親子同士の交流や情報交換の機会を通して、地域の中で子育てを支え合うつながりづくりにも努め、子ども園が地域の子育て支援拠点としての役割を果たすこと。
		○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざして子ども園、小学校、中学校、教育委員会、保健福祉課で構成する教育支援ネットワーク会議を定期開催し、情報共有と取組連携を行った。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていく。	○妊娠期から切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざして、保護者が安心して子育てできる環境づくりを進めるため、助産師や保健師との定期的な情報共有を継続し、子どもの成長や家庭状況に応じた相談・支援体制の充実に取り組んだ。 ◇幼児期から学齢期までを見通した継続的な支援体制づくりを進めることで、子ども一人ひとりの安心した生活や健やかな成長を支える地域全体での連携強化を図ること。 ◇保健福祉課や教育委員会、学校など関係機関との連携をさらに深め、子どもの育ちと保護者の不安や悩みに寄り添った切れ目のない支援体制を推進していく必要がある。さらに、保護者自身が子どもの成長を実感しながら安心して子育てに向き合えるよう、「親育ち子育て」の視点を大切にし、相談支援や交流機会の充実、家庭との信頼関係づくりを継続して進めていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

①あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
少年教育自然体験委託事業	郷土の自然や文化に親しみながら、アウトドアの基本を身につけ、豊かな感性と自ら考える力を育むことを目的に、主に小中学生を対象に年間10日間の自然体験イベント「ピンネっこクラブ」を企画運営し、サポート業務を委託する（令和4年度より体制変更）。 <令和6年度> ・「山菜ピザをつくろう！」 4月20日 26名参加 ・「サマーキャンプ2024」 8月1日-2日 32名参加 ・「BBQキャンプ」 8月19日-20日 21名参加 ・「秋の味覚でピザづくり！」 11月10日 8名参加 ・「ウィンターキャンプ2025」 1月14日-15日 20名参加 ・「ピンネの山でそり滑り！」 3月8日 26名参加 ・「焚火でチーズフォンデュ！」 3月9日 26名参加 <令和7年度> ・「山菜ソーセージをつくろう！」 4月13日 26名参加 ・「野外調理をしてみよう！」 5月25日 20名参加 ・「サマーキャンプ2025」 8月6日-7日 35名参加 ・「ピンネシリオートキャンプ場でデイキャンプ！」 9月27日 25名参加 ・「ダッチオープンでDEERシチューづくり！」 11月15日 29名参加 ・「鹿角ストラップをつくろう！」 12月14日 33名参加 ・「ウィンターキャンプ2026」 1月13日-14日 26名参加 ・「ピンネシリ森早春トレッキング」 3月30日 16名	○事業の担当者が教育委員会に移籍したことに伴い、教育委員会が主催し、委託事業者をサポート業務を依頼する体制となった。 ○職員不足により中止した回もあったものの、おおむね計画どおり宿泊キャンプ2回を含む年間10日間の事業を実施し、中頓別町の自然に親しんでもらうことができた。 ○年に2回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に3名、冬期に3名を派遣していただき、さらに、こどもプランでの音楽交流を実施している。 ●事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。 ◇担当職員のスキルアップを図り、より楽しく、より安全に体験活動を取り組む体制の構築を図る。	○・他事業と日程が重複しない時期に実施できたことで、参加しやすい環境を整えることができた。 ・中学生の参加者が増加し、学年の偏りが少なく、異年齢間で自然な交流や関りが生まれ、事業目的の一つである交流促進につながった。 ・活動の中で子どもたちが主体的に考え、行動する場面が多く見られ、ねらいに沿った事業展開ができた。 ●参加者数の増加に対してスタッフ数が不足しており、安全管理や支援体制の充実が課題である。 ◇参加者数に応じたスタッフ配置やボランティア確保を進め、安全かつ充実した活動体制を整備する。少人数・大人数それぞれに適した活動内容を検討し、参加規模に応じた柔軟な事業運営を図る。 ○年に2回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に2名、冬期に2名を派遣していただき、さらに、こどもプランでの音楽交流を実施している。 ●事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。 ◇担当職員のスキルアップを図り、より楽しく、より安全に体験活動を取り組む体制の構築を図る。
そうや自然学校事業	そうや自然学校を適切に維持管理するとともに、自然体験活動や野外教育活動の拠点として施設を運営し、児童生徒や地域住民に安全で充実した学習・体験の場を提供する		○施設の老朽化が進んでいるが、修繕等対応をしながら自然体験活動の拠点として活用をしている。令和7年度は屋根の修繕工事を実施。 ◇中頓別学園が力を入れている自然体験学習活動の拠点として継続し維持管理していく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
教育委員会事業	教育委員会会議開催などの事務に関する事。 <令和6年度> ・定例会議 12回 ・臨時会議 2回 <令和7年度> ・定例会議 12回 ・臨時会議 2回	○毎月1回の教育委員会の中で、教育行政に係る課題解決に向けた審議と情報共有が図られた。 ○教育委員会会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、今後こども園・小・中学校一貫の義務教育学校開校を視野に更なる教育推進が図られるようにする。	○毎月開催される教育委員会において、教育行政上の課題解決に向けた審議を行うとともに、情報の共有が図られた。 ○教育委員会会議に関する情報公開について、ホームページを通じて周知を行った。 ◇情報公開の徹底及び教育現場への支援を図るため、引き続き学校等を訪問し状況把握に努めるとともに、今後のこども園・小・中学校一貫の義務教育学校の開校を見据え、さらなる教育の推進が図られるよう取り組む。
教育委員会事務局事業	教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務事業を遂行する。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替え、小学校の中学校校舎への引っ越し、令和8年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇令和8年度には中頓別学園が開校予定になることから、事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、学校教育・社会教育の境の無い子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のため、学校現場等を含めたより一層の一体感を醸成していく必要がある。	○教育行政を取り巻く関係機関・団体と連携しながら、教育行政が直面する諸課題の解決に向けた取組を推進することができた。また、小学校の中学校校舎への移転、令和8年度の開校を目指した新たな学校づくりについて検討を進めた。 ◇令和8年度に中頓別学園の開校が予定されていることから、事務局と学校現場等との連携を一層強化し、学校教育と社会教育が一体となった子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育のさらなる推進を図るため、学校現場等を含めた一層の連携を深め、組織としての一体感を醸成していく必要がある。
表彰及び儀式・典 式 に関する事務事業	公立学校職員、教育行政職員として学校教育の振興に貢献し、特に功績が顕著であると認められた者が対象となる。 【秋の叙勲（地方教育行政功労）】 ・石井英正氏	◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差し支わりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。高齢者叙勲について、各年度ごとに該当者を調べ、該当者がいれば早めに住所・生存確認等を行う必要がある。 ◇令和7年度秋の叙勲（地方教育行政功労）の候補者として1名推薦中である。	◇死亡叙勲については、手続きの遅延が許されないことから、支障のない範囲で受賞候補者の把握に努めるとともに、申請に必要な事前準備を進めていく。高齢者叙勲については、毎年度対象者の確認を行い、該当者がいる場合には、住所や生存状況等の確認を早期に実施する必要がある。 ○令和7年度秋の叙勲（地方教育行政功労）の候補者として1名を推薦し、受章者となった。
規則規程等に関する事務事業	規定に基づき教育委員会条例及び規則の改廃、告示及びその他の規程を定め、公表する。 【条例規則等改正】 R6 R7 ・条例 3本 2本 ・規則 2本 8本 ・規程 0本 1本 ・要綱 0本 6本 ・要領 0本 1本	○教育行政に支障を来さない様、教育に関連する事務処理を遅滞なく処理した。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。 ◇小・中学校の一貫した義務教育学校の設置に向け、運営等に必要な事項を整理し、確実に事務処理を進めていく。	○教育行政に支障を来さないよう、教育に関連する事務処理を遅滞なく適切に処理した。 ◇今後も改正等の事務処理を遅滞なく行うとともに、必要に応じて随時見直しを実施していく。 ◇小・中学校の一貫した義務教育学校の設置に向け、運営等に必要な事項を整理し、事務処理を着実に進めていく。
道内教育委員会協議会補助事業	北海道教育委員会連絡協議会及び宗谷管内教育委員会連絡協議会があり、負担金は管内教連に執行している。目的は、各市町村教育委員会相互の連絡連携を図り教育振興と充実を図る。 【補助金】 <令和6年度> ・補助金 20,000円 <令和7年度> ・補助金 20,000円	○第59回北海道市町村教育委員研修会に参加。多様性社会における不登校の課題についての講演を聞き、知見を深めることができた。 ◇研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がりが、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。	○第60回北海道市町村教育委員研修会に参加し、多様性社会における不登校の課題に関する講演を聴講することで、知見を深めることができた。 ◇研修会への参加を通じて教育委員としての資質向上につながるとともに、管内教育委員会等との情報交換は本町の教育行政推進において有用であることから、できる限り出席できるよう努めていく。
公用車両維持管理事業	教育行政に必要な公用車の維持管理及び遠方の児童生徒の通学の足として、スクールバスの安全運行を図る。 【車両台数】 ・事務局用車両 3台 ・スクールバス 6台 【利用者数】 R6 R7 ・こども園 1名 0名 ・小学校 6名 5名 ・中学校 9名 10名 ・高校生 2名 2名	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。令和3年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇令和5年度10月から宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が始まり、安全に運行が図られたが停車中に後ろから追突される事故が1件発生している。引き続き車両修繕に係る修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。	○スクールバスについては、児童生徒の送迎に対し、事故もなく安全な運行が図られた。また、令和3年度から継続して、浜頓別高校へ遠距離通学する生徒を対象に、路線バスの終点である中頓別バスターミナルまでの送迎を実施した。 ◇令和5年10月から宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が開始され、令和7年度は事故もなく安全に運行が図られた。また中学校部活動の地域展開に係る試験的な対応として、中学生の送迎も一部行なった。今後も車両修繕に係る修繕計画を策定し、安全面に十分配慮していく必要がある。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

① 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

② 自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
教育研究指定校委託事業	各学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について、研究を委託する事業である。 【研究報告】 ・研究紀要 【委託料】 <令和6年度> ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円 <令和7年度> ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。	○教育効果の向上を図るため、学習指導のあり方等について研究を行うことにより、学校全体での共有化と指導力の向上につながった。また、研究の成果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育成するため、学習意欲を高める教育のあり方について習得できるよう、情報交換や研究の推進に努められるよう支援を行う。
中・小・中学校別学園整備事業	中・小・中学校が抱える施設の老朽化の問題を解決しつつ、こども園・小学校・中学校が連携した学校づくりを推進するため、小・中学校の校舎を新築・改修により集約し義務教育学校を設置する。さらに地域と協働する全世代型の学びの拠点づくりを目指す。 <令和6年度> ・学園推進企画会議 ・学校づくり授業 ・学校づくり委員会 ・人生100年の学びの場づくりセミナー ・インクルーシブ教育 ・UDLセミナー <令和7年度> ・学校づくり授業 ・学校づくり委員会 ・人生100年の学びの場づくりセミナー ・インクルーシブ教育 ・UDLセミナー	○中・小・中学校別学園による学びの拠点実現に向け、学校教育、図書館事業、建築、運営に係る検討事項等を細分化した部会等を通じて随時協議を進めることができた。○令和7年4月仮校舎での学校生活に向け、引っ越し作業のスケジュールや粗大ごみ等の処分検討、登下校の安全確保、スクールバス運行など多岐に渡る協議を経て調整や作業等を実施した。 ◇実施設計を元に本体工事の入札を行い事業者の決定を行った。今後の工事着工に向けて細かな日程調整や各団体の体育館使用に係る協議等を進めていく。	○中・小・中学校別学園による学びの拠点実現に向け、学校教育、図書館事業、建築、運営に係る検討事項等を細分化した部会等を通じて継続的に協議を進めることができた。○令和7年4月より仮校舎での学校生活が始まったことをうけ、登下校の安全確保、スクールバス運行などの調整や作業等を実施した。 ○昨年度から計画している本体工事の日程調整等を行い、熱中症対策の一環としてスポットクーラー設置に係る一連の工事を行うことができた。また小・中学校共同の学校生活の中で生じる課題に対しても速やかに対応できるよう努めることができた。各団体の体育館使用については、中学校体育館と町民体育館の使用に対して協議、調整を図り対応を行った。 ◇新施設での学校生活に向け、ICT機器やその他の使用機器の導入、運用方法について関係機関等と協議を進めるとともに、中・小・中学校別学園や教育委員会、図書室、給食センター等の移転に向けた計画、様々な活動を行う拠点としてのルールづくり、セキュリティや施設の管理運営などについても、順次協議を進めていく。
教職員住宅管理事業	教職員等の住宅の確保及び維持管理を実施し、居住環境の保持と改善を図る。 <令和6年度> ・小破壊修繕等 5件 <令和7年度> ・小破壊修繕等 5件	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。 ◇校長住宅建設について、年次計画に組み込めるよう準備を進めていく。	○緊急を要する修理・修繕については迅速に対応し、居住環境の維持・改善に努めた。 ●住宅の老朽化による損傷の進行を防ぐため、適時修繕が行えるよう、状態の把握に努める必要がある。 ◇校長住宅建設に向けた実施設計協議を重ねてきた。今後は建設及び既存教職員住宅の解体に向けた入札や日程調整を進めていく。また、不足する教職員住宅についても年次計画に組み込めるよう準備を進めていく。
小学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 <令和6年度> ・ワイヤレスマイク2台 ・スポットクーラー 7台 ・カーテン10枚 ・シュレッダー1台 <令和7年度> ・児童用GIGA端末63台 ・教師用GIGA端末20台	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達が行えた。 ○産業課による天板交換プロジェクトの実施に伴い、机・椅子の入れ替えを行った。 ◇児童生徒にとって、地元木材の有効活用が図られるよう関係各課と協議連携を図っていく。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。 ◇熱中症対策としてスポットクーラーを導入することができた。今後はより良い環境が図られるよう更に使用方法の検討を行っていく。	○安全・安心な教育環境の確保に必要な維持修繕及び物品等の調達を行うことができた。 ○産業課による天板交換プロジェクトの実施に伴い、机・椅子の更新を行った。 ◇児童生徒にとって地元木材の有効活用が図られるよう、関係各課と協議・連携を図っていく。 ◇校舎本体や設備について大規模改修の必要性が高まっていることから、新たな学校づくりに向け、計画的に整備を進める。 ◇熱中症対策としてスポットクーラーを導入することができた。今後は、より良い環境整備が図られるよう、さらなる使用方法の検討を行っていく。
中学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 <令和6年度> ・スポットクーラー5台 ・扇風機5台 ・スポットライト 1台 <令和7年度> ・生徒用GIGA端末42台 ・教師用GIGA端末17台 ・保健室用ベッド1台 ・蓄圧式粉末消火器11本	○小学校の引っ越しを見据え教室等の区画変更や使用していなかった設備の点検・復旧工事を行い引っ越しを進めることができた。◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。◇熱中症対策としてスポットクーラーを導入することができた。今後はより良い環境が図られるよう更に使用方法の検討を行っていく。	○小学校と共同の校舎使用を通じて電気回線の不具合など共同使用の中で見えてくる瑕疵等に対して速やかに対応することができた。 ◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。 ◇熱中症対策で導入したスポットクーラーのコンセント増設工事を日程調整しながら完了することができた。残り1年半くらいではあるが、より良い環境が図られるよう努めていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
小学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 ＜令和6年度＞ ・バーデーション4台 ・生徒用図書 必要数 ・教師用指導書 必要数 ＜令和7年度＞ ・オープンレンジ1台 ・コンピュータシン3台 ・電動糸鋸機1台	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限の教材等の整備が図られ、教育効果の向上につながった。 ◇今後においても学校との連携を密にし、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図める。
中学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 ＜令和6年度＞ ・電動シン3台 ・生徒用図書 必要数 ・両面脚付きホワイトボード1台 ＜令和7年度＞ ・購入実績なし	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限の教材等の整備が図られ、教育効果の向上につながった。 ◇今後においても学校との連携を密にし、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図める。
児童生徒健康診断委託事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【小学生】 R6 R7 内科検診（全学年） 54名 49名 結核検診（全学年） 54名 49名 心臓検診（小1年） 11名 7名 心臓検診（小4年） 12名 7名 歯科検診（全学年） 54名 49名 尿検査（全学年） 54名 49名 【中学生】 内科検診（全学年） 32名 34名 結核検診（全学年） 32名 34名 心臓検診（中1年） 12名 6名 歯科検診（全学年） 33名 34名 尿検査（全学年） 33名 34名	○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。各学校でフッ化物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危惧されていることから、こどもの身体への関心を高め、生活を振り返ることを目的として、小児生活習慣病予防検診を実施した。保健師による小学校児童向けの生活予防習慣病健診についての事前説明を実施した。 ◇学校保健担当者会議において小中学校から華がった要望に対し、保健福祉課・病院と連携しながら、内容の改善を図った。 ●今年度は中学校生徒1名、日程調整ができず受診を辞退した生徒がいた。学校と家庭、関係機関との関係を更に密にし、全員がきちんと受診を終えられるよう調整をしていく必要がある。	○児童生徒に係る健康診断については、学校保健安全法により学校の設置者に実施が義務付けられており、健康診断の実施により疾病の予防及び早期発見に寄与した。また、各学校においてフッ化物洗口を継続的に実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が懸念されていることから、児童の身体への関心を高め、生活習慣を見直すことを目的として、小児生活習慣病予防検診を実施した。 さらに、学校保健担当者会議において小中学校から出された要望については、保健福祉課及び病院と連携しながら、内容の改善を図った。 ○今年度は受診を辞退した生徒はいなかった。引き続き、学校と家庭、関係機関との関係を密にし、全員がきちんと受診を終えられるよう調整をしていく。
へき地児童生徒巡回検診事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【検診内容】 ＜令和6年度＞ ・脊柱側わん症検診（毎年実施） ・耳鼻科検診 ＜令和7年度＞ ・脊柱側わん症検診（毎年実施）	○耳鼻科検診の事務局を務め、適切に事業を終えることができた。脊柱側わん症検診については1名の生徒が対象となり、受診を行った。 ◇次年度は耳鼻科検診、眼科検診の実施は無し。次回は令和8年度に眼科検診を予定。各町と連携して事業を進める。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。 ※今後の予定 ・令和7年度 脊柱側わん症検診	○巡回検診のうち、脊柱側わん症検診については1名の生徒が対象となり、受診を行った。 ◇本年度は耳鼻科検診、眼科検診の実施は無し。次回は令和8年度に眼科検診が予定されている。各町と連携して事業を進める。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。 ※今後の予定 ・毎年実施 脊柱側わん症検診 ・R6実施 眼科（事務局：猿払）
教職員健康診断事業（人間ドック）	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 ＜令和6年度＞ ・54歳以下ドック受診者 小学校2名 中学校5名 ＜令和7年度＞ ・54歳以下ドック受診者 小学校3名 中学校2名	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ○公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されるとは限らないが、今年度は55歳以上も含め7名が受けることができた。 ●1名受診辞退があったが、受診忘れ等なく、無事に受診が完了した。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。	○教職員の健康保持・増進に資する事業として実施され、疾病の予防及び早期発見に寄与した。 ○公立学校共済組合としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず受診が決定されるとは限らないが、今年度は55歳以上を含め5名が受診することができた。 ◇教職員の健康診断については、学校保健安全法により学校の設置者に実施が義務付けられているものであり、今後も教職員の健康保持・増進に努める。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１） 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
教職員健康診断委託事業	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 R6 R7 ・小学校 14名 13名 ・中学校 8名 12名	○人間ドック受診者以外の辞退者を除く教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく	○対象となる教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断については、学校保健安全法により学校の設置者に実施が義務付けられているものであり、今後も教職員の健康保持・増進に努める。
就学児健康診断委託事業	就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。 【検診内容】 ・内科検診 ・歯科検診 【受診者数】 R6 R7 ・受診者 8名 5名	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。 ◇保健福祉課と連携し、町外の歯科医師による歯科検診を実施した。	○学校保健安全法に基づく健康診断として、内科検診及び歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することにより、個々に応じた適正な就学が図れることから、今後も継続していく。 ◇保健福祉課と連携し、町内の歯科医師による歯科検診を実施した。
就学奨励事業	経済的な理由等によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、必要な援助を行う事業である。 【対象者数】 R6 R7 ・新規者 1名 1名 ・継続者 6名 6名	○新規者1名、継続者6名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけるよう、引き続きわかりやすい内容で周知徹底をしていく。	○新規者1名、継続者6名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するため、本制度の利用が促進されるよう、引き続き分かりやすい内容で周知徹底を図っていく。
全国学力学習状況調査事務事業	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として調査を実施する。 【調査対象者】 R6 R7 小学校6年生 7人 3人 中学校3年生 5人 10人	○児童生徒の学力調査により、結果の分析と改善策の検討を行うことができた。小学校は国語・算数ともに全国平均を僅かに下回る結果となった。中学校の国語では全国平均以上の学力水準が見られた。 ●誤回答となった問題の傾向を分析し、授業改善に向けた取り組みを学校全体で行っていく必要がある。 ○学力水準の引き上げに偏らず、児童生徒一人ひとりの個性や適応力を把握し、地域との繋がりがや小中学校統合による特性の中から学ぶ社会性の習得や精神面の成長を育んでいく。	○児童生徒の学力調査により、結果の分析及び改善策の検討を行うことができた。小学校では国語・理科において、全国平均を上回った一方で、算数については、全国平均を下回る結果となった。中学校においては、国語、数学、理科全ての科目において、全国平均を上回る学力水準が見られた。 ●誤答となった問題の傾向を分析し、授業改善に向けた取組を学校全体で進めていく必要がある。 ○学力水準の向上に偏ることなく、児童生徒一人ひとりの個性や適応力を把握し、地域とのつながりがや小中学校統合による特性を生かしながら、社会性の習得や精神面の成長を育んでいく。
学校体育連盟運営事業	町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。 【補助金】 <令和6年度> ・補助金 223,000円 <令和7年度> ・補助金 223,000円	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、スキー競技2名、剣道競技2名が全道大会に、卓球競技1名が北海道選手権大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。	○スポーツを通じて身体面及び技能の向上が図られた。また、スキー競技2名、剣道競技1名が全道大会に、卓球競技1名が北海道選手権大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られ、一部種目においては、周辺のクラブへの移行を余儀なくされている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上のほか、体験機会の確保に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。
中頓別町教育研究会運営事業	中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営計画に則り、各校教育課程の改善、充実を図るため、町教育研究会に補助する事業である。 【補助金】 <平成6年度> ・補助金 262,000円 【令和6年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・管内教育研究大会 ・小中交流授業公開 <令和7年度> ・補助金262,000 【令和7年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・管内教育研究大会 ・小中交流授業公開	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○一斉活動日を設定して、年4回のサークル活動を実施した。浜頓別町教育研究会との協働は13年目を迎え、合同町研サークル活動、合同教育研究大会、合同実技研修の企画・運営等、益々の連携強化を進めた。小中連携の推進については、小中の研修連携を重点とし、外部講師の招聘による積極的な研修・授業改善を町研がサポートし、教職員の学びの機会を保障することができた。 ◇小中連携委員会を「学校づくり委員会」とし、学校づくり推進室と連携を取り、こども園・小学校・中学校の連携強化を図った。令和8年度の中頓別学園開校に向け、引き続き活動を行っていく。	○昨年度と同様に「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題とし、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究を通じて、学校教育の充実につながった。 ○一斉活動日を設定し、年4回のサークル活動を実施した。浜頓別町教育研究会との協働は14年目を迎え、合同町研サークル活動、合同教育研究大会、合同実技研修の企画・運営等を通じて、さらなる連携強化を進めた。小中連携の推進については、小中の研修連携を重点とし、外部講師の招聘による積極的な研修・授業改善を町研が支援することで、教職員の学びの機会を確保することができた。 ◇小中連携委員会を「学校づくり委員会」とし、学校づくり推進室と連携を図りながら、こども園・小学校・中学校の連携強化を推進した。令和8年度の中頓別学園開校に向け、引き続き取組を進めていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

① 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

② 自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
中 頓 別 町 特 別 支 援 教 育 連 携 協 議 会 運 営 事 業	発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援体制のあり方を検討することを目的に補助金を交付する事業である。 【令和6年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年1回 ○連携協議会役員会の開催 ・年3回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom開催） ○特別支援コーディネーター・特別支援担当者によるこども園 ・小学校 ・中学校視察 【令和7年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年1回 ○連携協議会役員会の開催 ・年3回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom開催） ○特別支援コーディネーター・特別支援担当者によるこども園 ・小学校 ・中学校視察	○情報交換会の開催○各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ○中頓別町PTA連合会と宗谷管内PTA連合会の共催で、木村玄司氏を講師に「子どもが自分から頑張ろうとするための3つのポイント」というテーマで講演会が行われた。こども園・小・中学校の教職員・保護者を中心に20名ほどが参加した。 ○学校・こども園視察では、小・中学校の特別支援コーディネーターを中心に視察が行われ、情報交換会で共有した子どもの実態の把握と教育支援会議に向けた情報共有が行われた。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。	○情報交換会の枠組みを刷新し、教育委員会、保健福祉課、こども支援センター、中頓別学園、こども園が連携し、子どもの発達支援、生徒指導等に一体となって取り組む「子ども支援ネットワーク」を組織することで、より機能的に子どもの支援が行えるように図った。R7年度は5回の定例会を実施した。 ○日本PTA研究大会宗谷管内大会に町連から5名を派遣した。 ○学校・こども園視察については、小・中学校の特別支援コーディネーターを中心に実施され、情報交換会において共有した子どもの実態把握及び教育支援会議に向けた情報共有が行われた。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討を進めていく必要がある。
就 学 支 援 委 員 会 事 務 事 業	心身に障害のある児童生徒等の就学の適正を図るため、就学指導委員会を開催し、教育長の指定する事項について審議を行うものである。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ○教育支援委員会に限らず、認定こども園が主体となった子ども支援ネットワーク会議においても、認定こども園・小中学校・保健福祉課・教育委員会で情報共有を図り、より長期的な視点からきめ細やかで具体的な支援の内容について検討することができた。 ○知能検査の検査レベルの見直しを図ったほか、新たに言語検査を行った。	○支援を必要とする児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ○教育支援委員会に限らず、認定こども園が主体となる子ども支援ネットワーク会議においても、認定こども園・小中学校・保健福祉課・教育委員会間で情報共有を図り、より長期的な視点に立った、きめ細やかで具体的な支援内容について検討することができた。 ○知能検査の検査レベルの見直しを行ったほか、新たに言語検査を実施した。
中 頓 別 町 育 英 会 事 務 事 業	経済的事由により就学が困難な学生、生徒に対して学資を貸与する事業である。 <令和6年度> ・新規貸与者 0名 ・継続貸与者 1名 <令和7年度> ・新規貸与者 0名 ・継続貸与者 0名	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。1名に学資を継続貸与した。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった家庭もあり、返済が滞っているが、返済する意思については確信である。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。 ◇新規貸与者の貸与に当たっては、返済の義務と計画性について明確に伝えるようにしている。	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られる取組であるが、R7年度の申請者はいなかった。 ●滞納者については、複数回にわたり償還状況の確認を行い、返済計画について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した家庭もあり返済が滞っているが、返済意思については確認済みである。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に履行の確約が得られるよう進めていく。 ◇新規貸与者への貸与に当たっては、返済の義務及び計画性について明確に説明するようにしている。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ①自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度																								
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																								
放課後児童健全育成事業	保護者の就労形態により、昼間家庭にいない子どもを対象として、保護者の代わりに家庭の機能の補完をしながら「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。 【入所人員】 <table><tr><td></td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>・1年生</td><td>11名</td><td>6名</td></tr><tr><td>・2年生</td><td>9名</td><td>10名</td></tr><tr><td>・3年生</td><td>8名</td><td>9名</td></tr><tr><td>・4年生</td><td>12名</td><td>8名</td></tr><tr><td>・5年生</td><td>2名</td><td>11名</td></tr><tr><td>・6年生</td><td>6名</td><td>2名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>48名</td><td>46名</td></tr></table>		R6	R7	・1年生	11名	6名	・2年生	9名	10名	・3年生	8名	9名	・4年生	12名	8名	・5年生	2名	11名	・6年生	6名	2名	合 計	48名	46名	○平成28年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の1つとして確立されてきている。 ●専門職員は配置し、支援員を中心に各種プログラムの展開を図っている。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、地域指導者との連携を図り、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。	○平成28年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の1つとして確立されてきている。 ●専門職員を配置し、支援員を中心に児童の日々の生活の支援を行い、参加児童の健全育成を図っている。 令和7年度には5名が専門資格を取得した。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、地域指導者との連携を図り、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。
	R6	R7																									
・1年生	11名	6名																									
・2年生	9名	10名																									
・3年生	8名	9名																									
・4年生	12名	8名																									
・5年生	2名	11名																									
・6年生	6名	2名																									
合 計	48名	46名																									
あいさつ子育て推進協議会運営補助事業	子どもの健全育成を願い、学校・父母・地域住民が共同して活動をする。 【事業内容】 ・子育て看板の設置 ・商工会街頭放送 ・祭典パレードでの参加協力 ・三行詩の取組み（町P連と連携） ・啓発チラシ等の更新 ・教育講演会への支援協力	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ○管内PTA連合会研修会の開催 ◇本事業は町P連と連携した事業であることから、令和2年度より中領別町学校PTA連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的な事業の展開を図る。	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ○管内PTA連合会研修会の開催 ◇本事業は町P連と連携した事業であることから、令和2年度より中領別町学校PTA連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的な事業の展開を図る。																								
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子どもプラン」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を推進する。 【事業実績】 ○学校支援地域本部事業 ・総合的な学習への支援 ○放課後子どもプラン事業 ・放課後の居場所づくり ○家庭教育支援事業 ・家庭教育講演会の開催	○学校授業、放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き、多くの活動を進めることができた。小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園とも担当者間で連携を取る体制が取られ事業が進められた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから9年が経過。従来の学年別活動、縦割り活動のほか、児童の意志で選択できる自由活動と、メニューも充実が見られる。例年通り親子水泳教室、親子スキー教室を実施。また、スキーワックスがけ事業についてはこども園園児、小学校低学年を対象に実施した。こども園では人権教室、茶道サークルによるお茶会が実施され、家庭教育分野もより一層充実した。（実績については別紙資料1「令和6年度 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動 実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討していきたい。	○学校授業、放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き、多くの活動を進めることができた。小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園とも担当者間で連携を取る体制が取られ事業が進められた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから10年が経過した。従来の学年別活動、縦割り活動のほか、児童の意志で選択できる自由活動と、メニューも充実が見られる。例年通り親子水泳教室、親子スキー教室を実施。スキーワックスがけ事業についてはこども園園児、小学生、中学生を対象に実施した。こども園では人権教室や、茶道サークルによるお茶会が実施され、家庭教育分野も充実していた。（実績については別紙資料1「令和6年度 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動 実績報告」を参照） 令和7年度は5名が放課後児童支援員認定資格を取得した。																								
生徒指導連絡協議会運営補助事業	幼児・児童生徒の健全育成、安全指導を関係機関との連携協調を持って、総合的に行う。 【事業内容】 ・総会定例会の開催 ・長期休業中の過ごし方の作成と配布 ・祭典巡視 ・教育講演会への支援協力 【補助金】 <令和6年度> ・補助金 150,000円 <令和7年度> ・補助金 0円	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 ○管内PTA連合会研修会との共催 ●対面での会議の開催し、関係団体や組織との連携をさらに深める必要がある ◇関係団体や組織の構成員について、構成員が同じため、共催や事業の見直しなど内容の深い取り組みとなるよう展開が必要である。	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成を図る目的でこれまで活動を行ってきた。 ◇学校体制が新たな枠組みになることから、生徒指導連絡協議会を解散し、新たな組織へ移行していくこととしている。																								

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ①自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
各種少年教育事業	教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。 【事業内容】 <令和6年度> ○管内PTA連絡協議会研修会への支援 <令和7年度> ○管内PTA連絡協議会研修会への支援	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○カルタ教室・大会としては、放課後子どもプランの児童を対象に開催を予定したが、指導者との日程が調整できず開催に至らなかった。 ○今年度は中頓別町子育て講演会を町P連、生指連、管内P連と共催で講演会の開催。 ●各関係団や組織との連携を強化し、より効果ある事業の展開が課題である。 ◇ここ数年カルタ教室・大会が開催されておらず、カルタの読み方がわからない小学生が増えているため、指導者の確保育成を含め、放課後子どもプラン等で練習する仕組みを整えていきたい。	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○学校家庭地域～事業、及び少年教育自然体験委託事業を通し、少年教育の充実が図られている。 ○今年度は中頓別町子育て講演会を町P連、生指連、管内P連と共催で講演会の開催。 ●各関係団や組織との連携を強化し、より効果ある事業の展開が課題である。 ◇学校支援事業は学校、放課後子どもプランは指導員、家庭教育支援事業はこども園、自然体験委託事業は委託先と、少年教育実施主体が徐々に育ってきている。数年先の実施方法等仕組みを整えていく必要がある。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ②特色ある教育活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
外国青年招致事業	外国語教育の充実や外国の文化にふれることによる国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する事業である。 【外国語活動】 ○こども館 ・絵本読み聞かせ ・コミュニケーション ○小学校 ・ウェルカム教室(国際理解) ・コミュニケーション英語 ○中学校 ・外国語授業 ○放課後子どもプラン ・英語タイム 【英会話教室】 ・金曜日 11:00～12:00	○現在外国語指導助手は2名体制としており、令和3年度よりは1名を中学校に常駐させている。令和6年度はJETプログラム参加者1名の入れ替えがあった。 ○小学校5・6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施。また、放課後子どもプランでは隔週火曜日に英語タイムを設け、参加児童と英語を用い交流を深めている。 ○隔週金曜日実施の英会話教室は7月まで実施し、町民と交流を深めた。	○現在、外国語指導助手（ALT）は2名体制で配置しており、令和3年度からはそのうち1名を中学校に常駐させている。令和6年度にはJETプログラム参加者1名交代があり、引き続き配置している。 ○小学校では、5・6年生を対象に年間70時間の英語授業、3・4年生を対象に35時間の外国語活動、1・2年生を対象に20時間の外国語活動を実施している。また、放課後子どもプランにおいては、隔週火曜日に英語タイムを設定し、参加児童との英語による交流を通じて親睦を深めている。 ◇英会話教室はJETプログラムの派遣ALTの交替により休止しているが今後再開の準備をしていく。
英会話教室運営事業	ALT（英語指導助手）による英会話教室を開催し、英会話力の向上及び異文化交流を深める。 毎週 金曜日 10:30～12:00 町民センター第1研修室 <令和6年度> 英会話教室登録者数0名 (ALTが変わり実施していない) <令和7年度> —	○校授業の外、認定こども園での取り組み、こどもプランでの英会話教室など、継続して実施した。 ●ALTが変わり、一般向け英会話教室を実施できていない。 ◇学校授業やこども園、こどもプランのほか、多様な活動の場の提供を図っていく。	○学校での授業に加え、認定こども園における活動や子どもプランでの英会話教室などについても、継続して実施した。 ◇英会話教室は今後再開の準備をしていく。 ◇学校での授業や認定こども園、子どもプランでの活動に加え、さまざまな場面で活動機会を提供できるよう取り組んでいく。
英語力育成事業	英検の受検者に対し、受検料の全額を補助する。 R7受検者数 児童生徒86名中 第1回 2人 第2回 2人 第3回 5人		○英語学習への意欲向上と資格取得を支援するために子どもの受検料を補助することで、経済的な負担感の軽減を図るとともに、受検機会の確保につなげることができた。児童生徒が目標をもって挑戦することの促進にも寄与している。 ◇補助額の在り方について、費用に対する効果を踏まえ検討していく。
学習習慣育成事業	漢検の受検者に対し、受検料の全額を補助する。 R7受検者数 児童生徒86名中 第1回 21人 第2回 15人 第3回 18人		○漢字検定の受検料を補助することで、児童生徒の学習意欲の向上や目標を持って取り組む姿勢の醸成につながっている。漢字検定は受検者も多く、児童生徒の学習成果を確認する機会として積極的に活用されている。 ◇補助額の在り方について、費用に対する効果を踏まえ検討していくとともに、対象を町民へ広げて取り組むことも視野にいれ検討する。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ②特色ある教育活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
夢と希望を！ 感動体験事業	平成28年度から、次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的に、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金を財源に、学校単位や、子ども育成会、分団活動、スポーツ少年団活動等において取り組む各種体験活動に補助金を支出する。 <令和6年度> ・中学校本物感動体験！修学旅行事業347千円 ・総合的な学習の時間「自然体験学習」66千円 ・中学校宿泊学習補助8千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー143千円 <令和7年度> ・プロスポーツ観戦ツアーバス599千円、野球503千円 ・中学校本物感動体験！修学旅行事業347千円 ・小学校修学旅行事業 66千円 ・中学校宿泊学習補助8千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー13千円	○プロ野球観戦ツアーを開催し小中高生11名の参加があり、エスコンフィールドへ日本ハムファイターズの応援観戦を行った。プロバスケット観戦については中高生20名での観戦ツアーを開催し、レバンガ北海道の応援観戦を行った。 ●観戦する時期や内容を検討する。年間に2事業の実施（バスケ、サッカー、野球） ◇スキーツアーの場所に関しては、近年名寄ビヤリスキー場が続いているが、関係団体と協議し、場所等について検討する。	○プロ野球観戦ツアーを開催し小中高生16名の参加があり、エスコンフィールドへ日本ハムファイターズの応援観戦を行った。プロバスケット観戦については小中学生26名での観戦ツアーを開催し、レバンガ北海道の応援観戦を行った。 スキーの魅力満喫体験ツアーを開催し近年名寄ビヤリスキー場が続いていたが、びっふスキー場に場所を変更して行った。色々なコースがあり、子どもたちも楽しんで滑っていた。食堂も広く快適に過ごすことができた。 ●観戦する時期や内容を検討する。年間に2事業の実施（バスケ、サッカー、野球） 他の行事と重ならないように企画する必要がある。 ◇近年物価高により、ホテル代やチケット代等全体的に金額が高騰しているため、参加料の増額を検討していく必要がある。
なかとんべつ 子ども読書プラン事業	子どもがたくさんの本と出会う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備することを目的に平成22年に「中頓別町子ども読書プラン」を策定し、絵本の読み聞かせなどの活動を推進している。 【事業内容】 <令和6年度> ・推進会議 ・ブックスタート 5/16 8/22 11/14 2/13 ・読み聞かせ 5/2 6/20 7/11 9/10 9/12 11/7 12/12 2/6 3/12 3/18 ・子どもプラン図書まつり 7/26 <令和7年度> ・推進会議 ・ブックスタート 5/15 8/21 11/13 2/12 ・読み聞かせ 5/1 6/26 7/10 9/11 11/6 12/11 2/5 3/12 ・子どもプラン 5/14 8/19 12/22	○図書ボランティアの人数が減少してきているが、読書活動は積極的に活動され、様々な工夫を凝らして、読み聞かせ活動や図書の整理など取り組みを行っている。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながら、ブックスタートや図書室及び学校図書室の推進を図る。	○少数ではあるが図書ボランティアの方々が多様な工夫を凝らして積極的に活動されており、読書活動、読み聞かせ活動や図書の整理などの取り組みを行っている。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながら、ブックスタートや図書室及び学校図書室の推進を図る。
学校給食事業	給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかさねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供する。	○米飯給食を基本とし、郷土料理や行事食、7・12月にはリザーブ給食を実施し、新メニューの提供に努めるとともに、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ◇中頓別学園の建設事業の中で、老朽化した給食センターの施設改修を計画に盛り込むことができた。○家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向けた、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。	○米飯給食を基本としながら、郷土料理や行事食を取り入れるとともに、7月と12月にはリザーブ給食を実施し、新たなメニューの提供に努めた。また、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ◇中頓別学園建設事業において、給食センターの施設改修を計画に盛り込み、引き続き検討をすすめている。 ◇家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向けた、学校給食費の全額補助を継続してすすめる。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

①生涯教育の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
成人式運営事業	成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。 <令和6年度> ・成人式 1月12日（日） 該当者11名、出席者7名 20歳のオリジナル図書父母への感謝の言葉父母からのお祝いの言葉小中学校恩師からのメッセージ ・ビデオレター放課後子どもプランからしおり ・コースター記念公演「和太鼓団 雪峯」 記念ビデオ贈呈 <令和7年度> ・20歳を祝う会1月11日（日） 該当者14名、出席者9名 20歳のオリジナル図書父母への感謝の言葉父母からのお祝いの言葉小中学校恩師からのメッセージ ・ビデオレター放課後子どもプランからしおり ・コースター記念公演「和太鼓団 雪峯」 ・記念ビデオ贈呈	○父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。記念品として、20歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。放課後子どもプランで取り組んだメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして送った。後日新成人から児童への感謝の品物を用意し渡した。和太鼓団「雪峯」による記念公演の実施。今年度から町民センターにて開催。 ●小・中学校に当時のビデオがあれば、式の当日写真コーナーにて流せるので小・中学校にあれば借用する。 ◇中頃別学園の建設に伴い、思い出となるイベントも考慮し開催する。	○父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。記念品として図書スタッフの方々に20歳のためのオリジナル図書を選書してもらい、対象者に好きな本を選んでもらえるようにした。放課後子どもプランの取り組みでメッセージ入りコースターを作成、成人者へプレゼントとして送った。後日成人者から児童への感謝の品物を用意し渡した。また、和太鼓団「雪峯」による記念公演を実施した。 ◇中頃別学園に当時のビデオがあるかを確認し、参加者がより思い出に浸れるように手配する。中頃別学園建設に伴い、思い出となるイベントも考慮し開催する。
高齢者いきいき教室運営事業	これまで学校形式「寿大学」から講座形式に工夫。高齢者が時代に沿った社会的能力を高めるため、健康増進、教養の向上、交流など生きがいのある充実した生活を創造していくための計画的な学習の機会を提供し、自ら活動するサークル活動を支援していく。 <令和6年度> ・各種サークル活動 ・町民センター避難訓練 ・文化塾への参加 ・リフレッシュ研修旅行 <令和7年度> ・各種サークル活動 ・文化塾へ参加 ・リフレッシュ研修旅行	○パソコンサークルは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ○中頃別文化塾などの講演会に参加してもらった。 ○リフレッシュ研修旅行の開催（登別方面、8名の参加） 引率：職員2名 ●リフレッシュ研修旅行の継続と社会教育事業への積極的参加を促す取り組みが必要。	○パソコンサークルは定着し、少しずつ人数を増やしながら継続して実施ができた。 ○中頃別文化塾などの講演会に参加してもらった。 ○リフレッシュ研修旅行の開催（阿寒湖方面、12名の参加） 引率：職員2名 ●リフレッシュ研修旅行の継続と社会教育事業への積極的参加を促す取り組みが必要。
社会教育委員会運営事業	社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するための職務を行う。 【事業内容】 <令和6年度> ・社会教育委員会会議 第1回 4月22日 第2回 10月8日 第3回 3月21日 <令和7年度> ・社会教育委員会会議 第1回 4月23日 第2回 10月7日 第3回 3月16日	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇各委員の研修会等への参加が可能な体制づくりが必要。	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●各委員の方々は仕事があるため、管内道内の社会教育委員研修会への参加が難しい状態。 ◇各委員の研修会等への参加が可能な体制づくりが必要。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(3) 大人も一緒に学べるまちづくり

①生涯教育の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種研修派遣事業	団体やサークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。 <令和6年度> なし <令和7年度> なし	●継続的に各種リーダー養成事業への案内はしているが、派遣には至っていない。 ◇社会教育主事等の研修会へ積極的に参加しスキルアップ、情報収集、近隣市町村との連携をはかることが必要である。	●継続的に各種リーダー養成事業への案内はしているが、派遣には至っていない。 ◇社会教育主事等の研修会へ積極的に参加しスキルアップ、情報収集、近隣市町村との連携協力を進めていくことが必要である。
車両維持管理事業	社会教育事業推進のため使用する車両の維持管理を行う。	○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。 ◇スポーツ巡回バスやワゴンの更新を検討しつつ、車両が故障した際には早急に修理する。 ◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。	○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。 ◇スポーツ巡回バスやワゴンの更新を検討しつつ、車両が故障した際には早急に修理する。 ◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。 ◇社会教育ワゴンの車両状態がとて悪く、更新が必要
管内生涯教育推進協議会運営負担事業	管内の生涯学習推進関係者や社会教育関係者等がその実践や研究協議を開催し、管内の生涯学習情報の収集と生涯学習関係者の資質の向上を図る。	○管内の生涯学習状況の把握と連携を図るため、社会教育主事会や宗谷教育局社会教育指導班と連携し、オンラインでの研修会を開催した。 ◇継続して積極的に各種会議・研修会への参加派遣を図るとともに、近隣市町村との密な関係を構築し連携する。	○管内の生涯学習状況の把握と連携を図るため、社会教育主事会や宗谷教育局社会教育指導班と連携し、オンラインでの研修会を開催した。 ◇継続して積極的に各種会議・研修会への参加派遣を図るとともに、近隣市町村との密な関係を構築し連携する。
町民センター運営維持管理事業	地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。 別紙「利用状況」を参照	○施設の老朽化が進み、地域住民の活動の拠点としては使用しにくくなっているが、小破修繕等対応している。 ●中頓別学園と町民センターの複合施設が完成するまでの応急的修繕整備で対応する。 ◇常勤体制の管理人が1名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。	○施設の老朽化が進み、地域住民の活動の拠点としては使用しにくくなっているが、小破修繕等対応している。 ●中頓別学園と町民センターの複合施設が完成するまでの応急的修繕整備で対応する。 ◇常勤体制の管理人が1名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。
郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り後世に伝えるため、郷土に関する資料の保存と展示をしている。健康で文化的な生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。 ○柔剣道場利用団体剣道少年団、柔道少年団 ○研修室利用団体絵手紙サークル等 別紙「利用状況」を参照	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●しばらく展示内容も変更していないため、学芸員による専門的見地から展示方法について検討する必要がある。 ◇資料館の展示について、専門家の意見をいただきながら、今後の展示の仕方について検討する。	○専門知識を持った職員を配置することができ、図書の管理等がスムーズとなった。また、運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●しばらく展示内容も変更していないため、学芸員による専門的見地から展示方法について検討する必要がある。 ◇資料館の展示について、専門家の意見をいただきながら、今後の展示の仕方について検討する。
創作活動施設運営管理事業	中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る 別紙「利用状況」を参照	○陶芸サークルの利活用 ○中頓別派出所の社屋建て替えのため創作活動施設を利用しており、子どもたちの見守りの強化ができています。 ●陶芸サークル、カヌー置き場としての活用のみで、今後、活用方法を検討する必要がある。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。	○陶芸サークルの利活用 ○現在は中頓別学園の現場事務所として利用している。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。
多目的集設施設維持管理事業	小頓別地区住民のコミュニティ活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。 <令和6年度> 委託料 120,000円 別紙「利用状況」を参照 <令和7年度> 委託料 120,000円 別紙「利用状況」を参照	○在所する集落支援員が退職され、施設の細かな清掃や破損など対応が困難となっている。 ◇施設管理を委託している自治会や地域住民の協力を得ながら清掃管理を進め、計画的な施設整備を図ることが必要である。	○在所する集落支援員が退職され、施設の細かな清掃や破損など対応が困難となっている。 ◇施設管理を委託している自治会や地域住民の協力を得ながら清掃管理を進め、計画的な施設整備を図ることが必要である。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
社会体育推進事業	各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。 【事業内容】 ・スポーツ巡回車(26人乗り)の維持管理 ・スポーツ安全保険、レクレーション保険の手続き等 <令和6年度> ・モルック 5組 <令和7年度> なし	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 ●スキー用品のリサイクルを継続していたが再利用できない用具が多く、次の人へと引き渡す際の整備や古いスキーの処分が必要となるため、取りやめとした。 ◇老朽化が著しい体育館であるが、修繕や備品などの計画的に整備を図る。	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 ◇老朽化が著しい体育館であるが、修繕や備品などの計画的に整備を図る。
スポーツ推進委員会運営事業	スポーツの推進のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 【事業内容】 スポーツ推進委員会の開催 <令和6年度> 第1回 4月25日 第2回 7月5日 第3回 2月15日 第4回 3月26日 <令和7年度> 第1回 5月22日 第2回 7月10日 第3回 2月19日 第4回 3月27日	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。各年齢層の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に事業の運営に積極的に参画できるよう配慮する。	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。各年齢層の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に事業の運営に積極的に参画できるよう配慮する。
町民各種スポーツ大会等運営事業	各種スポーツ大会等を通して、本町のスポーツの推進を図り、町民の健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 <令和6年度> (主催) ・町長杯パークゴルフ大会 5月26日 13名 ・町民ソフトボール大会 7月7日 4チーム48名 ・プールフェスタ 8月24日 7名 ・第45回町民駅伝大会 9月1日(日) 全8チーム (後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日(スポーツの日記念大会) ・町民健康マラソン大会 10月12日 43名 <令和7年度> (主催) ・町長杯パークゴルフ大会 5月25日 16名 ・町民ソフトボール大会 6月22日 5チーム72名 ・プールフェスタ 7月26日 21名 ・第46回町民駅伝大会 9月7日(日) 全7チーム (後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日(スポーツの日記念大会) ・町民健康マラソン大会 10月11日 44名 ・町民卓球大会 11月9日 17名	○各種スポーツ大会等の開催をととして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者については減少傾向にあるが、引き続き周知を強化していく。 ●例年参加者が減少しているため、内容や周知方法を検討する必要がある。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。	○各種スポーツ大会等の開催をととして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者については減少傾向にあるが、引き続き周知を強化していく。 ●例年参加者が減少しているため、内容や周知方法を検討する必要がある。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
冬季スポーツ教室等運営事業	冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ・一般スキー教室 1月18日、19日、26日、2月1日、2日18名 ・ジュニアアルペン教室 1月11日、13日 8名 ・スノーボード教室 2月8日、9日 5名 ・歩くスキー教室 2月4日、11日、18日、25日11名 ・キッズスキー教室（こども園）1月28日、2月3日延9名 ・寿ジュニアスキー大会（寿スキー少年団記録会）2月2日小学生14名 ・町民スノーフェスティバル3月2日スキー幼児1名 小学生25名中学生2名 一般2名 スノーボード小学生11名 中学生5名 一般4名 歩くスキー 7名 ビニール滑り 約40名 的入れ 約60名 宝探し 約150名 ＜令和7年度＞ ・一般スキー教室 1月18日、24日、25日、31日、2月1日24名 ・ジュニアアルペン教室 1月12日、17日 6名 ・スノーボード教室 1月24日、25日 8名 ・歩くスキー教室 2月12日、19日、26日19名 ・キッズスキー教室（こども園）1月15日、19日延8名 ・寿ジュニアスキー大会（寿スキー少年団記録会）2月1日年長1名、小学生25名、中学生3名、高校生2名 ・町民スノーフェスティバル3月2日スキー幼児4名 小学生25名中学生4名 一般8名 スノーボード 小学生5名 中学生5名 一般2名 歩くスキー 9名 ビニール滑り 約40名 的入れ 約40名 宝探し 約150名	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、スキー協会や浜頓別町の指導員へも指導依頼を行い開催した。 ●スキー競技について教室や大会含めて参加減少傾向にある。また、スノーボードについては、若干ではあるが増加傾向にある。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取組む必要がある。全般的に冬季スポーツの教室及び大会への参加者が減少傾向にあるため、潜在人口はあるため、講師を含めて参加できるよう事業等の見直し時期にある。	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、スキー協会や浜頓別町の指導員へも指導依頼を行い開催した。 ●今年度はスキー、スノーボード競技について教室や大会含めて参加者は増加傾向にある。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取組む必要がある。講師を含めて参加できるよう事業等の見直しが必要である。
スポーツ少年団本部運営補助事業	町内のスポーツ少年団の円滑な運営を図るとともに団員のスポーツ技術の向上と青少年の健全育成、各団体相互の親睦を図る。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ・団員50名 剣道5名、柔道0名、卓球13名、フットサル3名、スキー12名、ミニバス17名 ・結団式 5月25日 ・卒団式 3月13日 ＜令和7年度＞ ・団員79名 剣道6名、柔道0名、卓球13名、フットサル5名、スキー38名、ミニバス17名 ・結団式 未実施 ・卒団式 3月13日を予定していたが、インフルエンザの流行により中止とした。	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。また、少年団への加入人数は減少傾向にあるが、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ●少年団の指導者が減少傾向にあるため、各団体から数名ずつ養成していく必要がある。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。 ●少年団の指導者が減少傾向にあるため、各団体から数名ずつ養成していく必要がある。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
学校開放事業	学校体育館を開放し、町民のスポーツ活動を支援する。主な利用団体 サッカー協会、バスケットボール協会、卓球協会、スポーツしない会、卓球少年団、フットサル少年団、ミニバスケットクラブ 別紙「利用状況」を参照	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ◇引き続き学校体育館の積極的な利活用を図る。	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の開放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ◇引き続き学校体育館の積極的な利活用を図る。
各種スポーツ団体支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ・第15回中嶺別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会運営支援 ＜令和7年度＞ ・第16回中嶺別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会運営支援	○後援事業だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に支援する体制を整え、宗谷陸地町村ゲートボール大会の運営支援を行った。 ◇各団体サークルからの要望に応じ、支援活動を実施し、団体サークルの活性化を図る。	○後援事業だけでなく、大会規模に応じて運営や選手としての参加等人的支援の要望がある際には、積極的に支援する体制を整え、宗谷陸地町村ゲートボール大会の支援を行った。 ◇各団体サークルからの要望に応じ、支援活動を実施し、団体サークルの活性化を図る。
社会体育施設運営事業	町民体育館は、町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。別紙「利用状況」を参照	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用している。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くっており、計画的な修理修繕が必要である。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境整備が必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用している。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くっており、計画的な修理修繕が必要である。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境を整備していく必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。
山村プール運営事業	学校授業や子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となっている。 【事業内容】 ・山村プール内外の環境整備 ・施設の維持管理 ・水質管理と利用者への安全確保 ・夜間開放 別紙「利用状況」を参照	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっているため、細谷建設と委託業務を提携し監視業務を強化する。 ◇夜間開放について、利用しやすい日程で実施する。	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放は取りやめとしたが、親子水泳教室については夜間の時間を実施している。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっているため、細谷建設と委託業務を提携し監視業務を強化する。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
寿野外レクリエーション施設事業	町の社会教育施設の管理を平成18年度から指定管理として中頓別振興公社に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の憩いの場として、円滑・効率的な運営管理を図っている。	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。スキー来場者数が過去最多を記録した。 ●ふれあいスポーツ広場の利用については、町で開催する事業の外は利活用がない状況である。	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。 ●ふれあいスポーツ広場の利用については、町で開催する事業の外は利活用がない状況である。
	【指定管理施設】 <令和6年度> ・中頓別町寿スキー場リフト輸送人員 12月7,225人 1月20,960人 2月19,336人 3月7,753人 計55,274人 ・寿パークゴルフ場シーズン券36件 利用者数766人 <令和7年度> ・中頓別町寿スキー場リフト輸送人員 12月6,398人 1月21,250人 2月13,728人 3月5,065人 計46,441人 ・寿パークゴルフ場シーズン券38件 利用者数604人	◇寿公園の遊具について、老朽化が著しく、遊具を利用中にケガが発生した事案もあり、公園遊具を含めた再整備が必要である。	◇今年度に引き続き整備工事を実施。老朽化が著しかった公園遊具について、整備工事を行っていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和7年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民文化推進事業	地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知ることや、お互いの交流を深める。また、地域的に優れた芸術文化に接する機会が少ないため、優れた芸術作品に接する鑑賞機会を設ける。中頓別町の文化及びスポーツの振興発展に寄与し、特に実績の顕著な方の表彰に関する必要な事項を定め、中頓別町の文化及びスポーツの普及振興に資することを目的とする。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ○文化週間 10/22～11/5 ○文化祭 11/3～11/4 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 道民芸術祭（書道展） ハワイ語学研修発表会 ○文化スポーツ表彰・スポーツ優良賞 柳澤 花音 氏 平山 伶明 氏 斎藤 蒼空 氏 能澤 珀月 氏 村上 翔哉 氏 中澤 秀嘉 氏 矢部 智彦 氏 ＜令和7年度＞ ○文化週間 10/21～11/4 ○文化祭 11/2～11/3 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 道民芸術祭（写真展） ハワイ語学研修発表会 ○文化スポーツ表彰 ・文化賞 山崎 しずゑ 氏 ・文化功労賞 太田 友美 氏 ・文化優秀賞 五十嵐 琴律 氏 ・スポーツ優良賞 平山 伶明 氏 能澤 柚月 氏 飯田 真央 氏 村上 翔哉 氏	○本町の伝統ある文化芸術活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。郷土芸術祭（俳句大会の開催） ●文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にある。 ◇展示会場となる町民センターが手狭になり、展示や発表について各団体サークルと協議し、有意義な会場設営と展示発表となるよう検討する。	○本町の伝統ある文化芸術活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。また、道民芸術祭を（写真展）開催 ●文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にある。 ◇展示会場となる町民センターが手狭になり、展示や発表について各団体サークルと協議し、有意義な会場設営と展示発表となるよう検討する。
芸術文化公演事業（児童生徒芸術鑑賞事業）	日頃、舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にする心を養うため開催する。（財源充当を図るため、毎年、北海道巡回小劇場へ補助要望を進める） 【事業内容】 ＜令和6年度＞ 9月13日 有限会社 劇団トマト座「ミュージカル オズの魔法使い」 ＜令和7年度＞ 10月1日 和心ブラザーズ和楽器民謡コンサート	○道の巡回小劇場による文化公園の開催。春風亭柳太朗による「学校大喜利」の開催こども園年長8名、小学校54名、中学校33名 ◇日頃、芸術文化を鑑賞する機会は少ない中、児童生徒、一般町に舞台鑑賞の機会を提供できるよう、学校や関係団体と協議し継続した取り組みとする。	○道の巡回小劇場による文化公演の開催。和心ブラザーズによる「和楽器民謡コンサート」の開催こども園年長4名、小学校51名、中学校34名 ◇日頃、芸術文化を鑑賞する機会は少ない中、児童生徒、地域の方に舞台鑑賞の機会を提供できるよう、学校や関係団体と協議し継続した取り組みとする。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（3）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和6年度	令和7年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
各種文化団体 支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が支援し、文化スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ・道民芸術祭 11月3・4日 書道展 ＜令和7年度＞ ・道民芸術祭 11月2・3日 写真展	○中頓別町を当番町として、書道展を開催した。2町の参加であったが、日本習字を中心に開催。 ●文化団体の高齢化と会員減少に伴い、運営が課題である。本町の文化団体の現状から展示主体の開催が適当である。 ◇芸術文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。	○中頓別町を当番町として、写真展を開催した。町内の写真愛好家にも協力をいただき開催。 ●文化団体の高齢化と会員減少に伴い、運営が課題である。本町の文化団体の現状から展示主体の開催が適当である。 ◇芸術文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。
中頓別文化塾	教育関係者を講師に招き、道内や全国各地における教育の現状を把握するとともに、住民が地域に対して興味関心を持つてもらうことを目的とする講演会を開催する。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ・第1回文化塾 49名 「いのち」と向き合う旭山動物園坂東園長による講話 ・第2回文化塾 123名 「出会いから夢へ、夢から目標へ」フリー三味線演奏家奈良海翔氏によるライブディスカッション ＜令和7年度＞ ・第1回文化塾 98名 「ピエロクローゼ」 ・第2回文化塾 43名 「私の夫はマサイの戦士」	○新しい学校づくりと連携し、音楽コンサートと新しい学校の意見交換を開催した。●2回の文化塾の開催を予定していたが、講師との日程調整が不調となり1回の開催となった。◇次年度以降も学習機会の提要の拡大のため、引き続き事業を実施する。	○中頓別町まちづくり協議会と協働し、2回開催した。 ◇次年度以降も学習機会の提要の拡大のため、引き続き事業を実施する。
文化財保護委員会運営事業	本町の区域内に所在する文化財（国又は道の指定するものを含む）の、保全及び活用のために必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。 【事業内容】 ＜令和6年度＞ ・調査活動 5月20日7名 ＜令和7年度＞ ・調査活動 5月30日10名	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。広報担当の随行により、文化財保護委員の活動について周知した。 ●高山植物の公表の可否 ◇高山植物群について、盗掘やがけ崩れ等による被害はないが、年々、植栽が減少しているため、継続した観察活動が必要である。	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。広報担当の随行により、文化財保護委員の活動について周知した。 ●高山植物の公表の可否 ◇高山植物群について、盗掘やがけ崩れ等による被害はないが、年々、植栽が減少しているため、継続した観察活動が必要である。

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場所	内容	対象者	備考
総合学習	8月26日	4年生教室	森林教室（座学） ・樹種について ・森の役割について ・林業、植樹について	4年生	指導林家 峰友武氏 森林室2名 林務課2名
総合学習	9月1日、2日、3日	美術・図工室	楽器作り ・楽器作成 ・作曲	4年生	教育大学旭川校 芳賀氏
総合学習	9月9日	ふるさとの森	ネイチャーゲーム（野外学習） ・いろいろなもの探し ・ふるさとの森かくれんぼ	4年生	地域おこし協力隊 吉田氏
総合学習	9月25日	旭台地区山林	植樹体験 ・木琴演奏 ・植樹体験	4年生	指導林家 3名 森林室2名
総合学習	10月6日	家庭科室	バスボムづくり ・牛乳、酪農クイズ ・バスボムづくり体験	5,6年生	東宗谷農協女性部8名 青年部1名
総合学習	11月25日	5年生教室	認知症サポーター養成講座 ・認知症について	5年生	保健福祉課 保健師西巻主幹
総合学習	12月2日	老人ホーム長寿園	長寿園見学 ・施設見学 ・車いす体験 ・質問	5年生	長寿園 遠藤氏

総合学習		12月16日	家庭科室	バターづくり体験 ・酪農クイズ ・バターづくり体験	3年生	東宗谷農協青年部7名
総合学習		2月10日	5,6年生教室	酪農家について（キャリア教育） ・仕事について ・質問	6年生	澤里ファーム 澤里氏
総合学習		2月17日	5,6年生教室	中頓別の自然について（キャリア教育） ・仕事について ・質問	6年生	地域おこし協力隊 吉田氏
総合学習		2月16日	焼肉ジャンボ	焼肉ジャンボについて（キャリア教育） ・仕事について ・質問	6年生	焼肉ジャンボ 正田氏
総合学習		2月19日 （中止）	5,6年生教室	ヤマフクコーヒーについて（キャリア教育） ・仕事について ・質問	6年生	ヤマフクコーヒー 蓮尾愛氏
総合学習		2月18日	こども園	福祉体験 ・歌の会見学 ・絵本よみきかせ	5年生	こども園
総合学習		3月6日 （中止）	5,6年生教室	東野小学校 Zoom 交流授業 ・自己紹介 ・発表、感想 ・質問コーナー（自由交流）	5、6年生	【東野小学校】 木原教諭 5、6年生担任教諭 5、6年生童 ・平岡氏（ICT支援員）
国語	除雪機見学	10月3日	北海道開発局 除雪ステーション	1年生除雪車両見学 ・除雪車両についての説明 ・操作体験	1年生	バス利用
生活科	まちたんけん	9月19日	郷土資料館図書室	2年生まちたんけん ・図書室見学 ・質問	2年生	教育委員会 坂本主事

社会科	もつともつとまちたんけん	12月5日	北海道開発局 除雪ステーション	2年生もつともつとまちたんけん ・見学 ・質問	2年生	浜頓別道路事務所へ相談
社会科	もつともつとまちたんけん	12月8日	役場	2年生もつともつとまちたんけん ・見学 ・質問	2年生	役場総務課 飯田主査
	もつともつとまちたんけん	12月10日	ヤマフクコーヒー	2年生もつともつとまちたんけん ・見学 ・質問	2年生	ヤマフクコーヒー 蓮尾愛氏
	もつともつとまちたんけん	12月10日	中頓別駐在所	2年生もつともつとまちたんけん ・見学 ・質問	2年生	中頓別駐在所 名
	もつともつとまちたんけん	12月5日	モトマツダ	2年生もつともつとまちたんけん ・見学 ・質問	2年生	政策経営課野田課長 虎井氏
社会科	浄水場見学	7月16日	中頓別浄水場	4年生浄水場見学 ・施設説明 ・質問 等	4年生	バス利用 建設課2名 浄水場2名
	消防署見学	7月4日	南宗谷消防組合中頓別支署	3年生消防見学 ・施設説明 ・放水・訓練体験 等	3年生	消防職員 5名
	下水処理場見学	10月8日	中頓別町下水道管理センター	4年生下水処理場見学 ・施設説明 ・微生物について ・質問	4年生	バス利用 建設課 菅原主事 下水道管理センター4名
	廃棄物処理場見学	10月8日	中頓別町一般廃棄物埋立処理施設	4年生廃棄物処理場見学 ・施設説明・見学 ・質問	4年生	バス利用 振興公社へ依頼

	酪農体験学習	11月7日	成田牧場	3年生酪農体験学習 ・設備見学 ・給餌体験	3年生	バス利用 農協青年部
	スーパー見学	12月3日	フレッシュフードやすかわ	3年生お店見学 ・店内見学 ・質問	3年生	
	茶道	11月13日	町民センター和室	6年生「歴史」茶道 ・お茶の伝来 ・茶道体験（所作・点前）	6年生	茶道サークル 8名
水泳	授業支援	7～9月 計9回	山村水泳プール	全学年の水泳授業支援 ・2学年ずつ各3回実施	全校児童	児童保護者
クス掛け	スキーワックス掛け	11～12月 (土日祝除)	町民センター	児童のスキーのワックス掛け	こども園 小学校 中学校	教育委員会
スキー	授業支援	1、2月 計9回	寿スキー場	全学年のスキー授業指導支援 ・2学年ずつ各3回実施	全校児童	
	人権教室	9月10日	小学校	各学年人権教室 1.2年生「白い魚とサメの子」 3.4年生「とべないホテル」 5.6年生「いじめと戦おう」	全校児童 (各学年)	人権擁護委員 今野氏
	人権の花運動	6月26日	小学校	生徒玄関横 プランターに花植え	5.6年生	人権擁護委員 今野氏 総務課2名
	学習発表会 長寿園	11月7日	老人ホーム長寿園	1.2年生学習発表会 ・音楽 ・劇	1.2年生	長寿園 遠藤氏
	ゆめのたねづくり	11月25日	小学校	4年生学活 ・将来の夢を書いたゆめのたねを作成し、役場のモニュメントへ預ける	4年生	ポットラック 前田氏 産業課 原岡主幹

環境整備活動	畑づくり	7月11日、12日	中学校校庭横	畑づくり →プランターを使用していたが、風により作物が倒れてしまう為作成		指導林家 峰友氏
--------	------	-----------	--------	---	--	-------------

※その他、随時学校よりの希望に合わせて実施する

②中頓別中学校

事業	開催日	場所	内容	対象者	備考
総合学習	9月1日	稚内信金 中頓別郵便局 消防署中頓別支署 里芋と蜂蜜	2年生対話学習(インタビュー) ・現地へ行き質問	2年生	稚内信用金庫 幅田氏 中頓別郵便局 本山氏 消防署 西巻氏 里芋と蜂蜜 中野氏
総合学習	9月18日 9月24日	介護福祉センター 長寿園	1年生総合学習 福祉体験	1年生	老人ホーム長寿園
総合学習	1月28日	中学校2年生教室	2年生対話学習(キャリア教育) ・町外から来た方で町内で働いている方より話を聞く ・質問	2年生	役場建設課 丹治主事 吉田光良氏
総合学習	2月5日、26日(延期日)	中学校1年生教室	進路学習(中頓別のヒーロー学習) ・歩んできた人生について ・仕事について ・質問	1年生	ヤマフクコーヒー 蓮尾愛氏 中頓別郵便局 藤田氏 保健福祉課 布施主事
総合学習	9月1日	稚内信金 中頓別郵便局 消防署中頓別支署 里芋と蜂蜜	2年生総合学習 対話学習(インタビュー) ・現地へ行き質問	2年生	

道徳	8月26日	各教室	いのちの授業	全校生徒	エンドオブライフ・ケア協会
柔道 授業支援	11、12月	柔剣道場	1、2年生の柔道授業支援 各学年4回 計8回実施	1、2年生	丸山博光氏
人権教室	11月17日	中学校	・DVD「インターネットと人権」	全校生徒	人権擁護委員 今野氏

※その他、随時学校よりの希望に合わせて実施する

③学校図書・読書の支援

小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録、 図書室模様替え、図書整理	読み聞かせボランティアサークル このゆびと〜まれ！
こども園	絵本の読み聞かせ	

2. 各校との情報交換

- 小学校 毎週火、木曜日 15 時～ 地域コーディネーターが滞在し、担当教諭と打合せを実施
- 中学校 随時電話、メールでの受付

3. 交流事業(講演会含む)の開催

①夏休み体験学習

開催日	場所	内容	備考
7月29日	町民センター、 寿公園	写真絵本作成会	小寺卓也氏

②親子水泳教室

開催日	場所	内容	備考
7月28日、29日	山村水泳プール	親子で水泳の基礎を学び、安全に水泳を楽しむため、地域の経験者に基本的な指導をしてもらい、水泳技術の向上と体力増進を図る。	石黒良子氏 消防職員4名

③子どもチャレンジ教室

開催日	場所	内容	対象	教育支援員等
8月6日、7日	そうや自然学校、	環境学習、自然体験、キャンプ (宿泊は3年生以上)	小学生、中学生	道教大旭川 校学生
1月13日、14日	そうや自然学校	雪上運動会	小学生、中学生	道教大旭川 校学生

【なかとんべつ放課後子どもプラン（教室）事業】

（常時活動）

宿題・プリント 毎日

運動（戸外運動）月3～5回程度

英語タイム 隔週火曜日

おやつ提供 毎週金曜日

英語タイムはALTを講師として実施。

（平日）

月	予定日数	活動場所	活動予定	備考
4	21	町民センター	作文、絵、開講式（自己紹介）、クリーン作戦、工作	
5	20	町民センター	ありがとうのカード（展示依頼・郵送）、工作、手芸、チューリップ摘み、種まき、かけっこ教室	
6	21	町民センター	工作、作品郵送、球根取り、花壇づくり、自然体験（焚火）、戸外活動、新種のカエルを考えよう	
7	22	町民センター	プラン祭り、工作、花摘み・桜の実取り、戸外活動、コラージュ、おみこし飾りつけ、木工教室	
8	20	町民センター	戸外活動、工作、人形劇鑑賞	
9	20	町民センター	敬老の日（工作・手紙・郵送）、戸外活動、花つみ、染物教室、むかしあそび	
10	22	町民センター	文化祭作品作り、ハロウィンパーティー、落ち葉拾い、工作、自然体験（焚火でじゃがばた）、花壇整備	
11	18	町民センター	球根植え、工作、モルック、クリスマス工作、手話教室、ゆびあみ、オセロ大会	
12	21	町民センター	成人式作品作り、工作、クリスマス会	
1	19	町民センター	工作、イルミネーション点灯式参加、豆まき	
2	18	町民センター	工作、雪遊び、お雛様飾り	
3	22	町民センター	ひな祭り会、作文、工作、新聞紙遊び、閉講式、お楽しみ会	
合計	244 日			

(うち、長期休業期間中)

月	実施日	活動場所	主な活動内容	備考
4	7	町民センター、及び周辺	工作、館内案内、DVD鑑賞、読書	
7	4	町民センター、及び周辺	読書、工作、プール、水遊び、写真絵本	
8	14	町民センター、及び周辺、町体育館、小学校グラウンド	戸外活動、工作、チャレンジ教室参加、学習会(大学生)、音楽レク(大学生)、プール、バスボムづくり、図書まつり、トランプ大会、お楽しみ会	
12	4	町民センター、及び周辺	カレンダーづくり、工作、戸外活動、大掃除	
1	7	町民センター、及び周辺	書初め、正月遊び、戸外活動、工作、雪あそび	
3	5	町民センター	資料館見学、映画鑑賞、大掃除	
合計	41 日			

【家庭教育支援事業】

①ブックスタート（読み聞かせ、本のプレゼント）

開催日	令和7年5月15日、8月21日、11月13日、令和8年2月12日
目的	幼児期のことばと心を育むため温かなぬくもりの中で、優しく語り合う時間を設け、親子で絵本を開く楽しいひとときを分かち合うことを目的とする。
場所	保健センター相談室
講師	図書ボランティアサークル

②キッズスキー教室(こども園年長児)

開催日	1月19日
目的	冬季屋外活動を実施し、スキー体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、屋外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスムーズなスキー授業の取り組みにつなげていく。
講師	スキー協会等
対象者	こども園年長児

③スキーワックスがけ事業

開催日	11月～12月頃（土日祝除く）
場所	町民センター
支援員	教育委員会
目的	こども園園児を対象とし、スキーシーズン初めから安全に滑れるよう、スキー板へのワックスがけを実施

④こども園人権教室

開催日	10月21日
場所	こども園
支援員	人権擁護委員
目的	友達への優しい言葉がけや行動について話し、思いやりの心について考える時間とする。

⑤こども園年長児お茶会

開催日	2月24日
場所	町民センター
支援員	茶道サークル
目的	茶道の規律・規範に触れ学校生活に必要なルールを守る心を育む。

【資 料】

宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況

項 目	日 程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
学校教育 指導 一次訪問 学校経営 訪問 一次訪問	07.06.12	義務教育指導監 学校教育指導班 指導主事 社会教育指導班 主査 (オンライン)	中頓別小学校	○学校経営について協議・指導助言 ○学校教育について説明・指導助言 ○社会教育主事より説明・意見交流
※同日実 施	07.06.25	義務教育指導監 学校教育指導班 指導主事 社会教育指導班 主査 (オンライン)	中頓別中学校	○学校経営について協議・指導助言 ○学校教育について説明・指導助言 ○社会教育主事より説明・意見交流
学校教育 指導 要請訪問	07.06.16	学校教育指導班 指導主事 (直接訪問)	中頓別中学校	○授業参観(各学年・1年国語(特設 授業)) ○リフレクション ○指導・助言
学校教育 指導 二次訪問	07.11.5	義務教育指導班 指導主事 (直接訪問)	中頓別小学校	○授業参観 ○リフレクション ○指導・助言
	07.11.21	義務教育指導班 指導主事 (直接訪問)	中頓別中学校	○授業参観(1、2、3、特別支援) ○指導・助言 ○授業改善に関わる協議
学校経営 訪問 二次訪問	07.11.10	義務教育指導監 (直接訪問)	中頓別小学校	○検証改善サイクルシートを用いた協 議・指導助言
			中頓別中学校	○授業参観 ○指導・助言

令和7年度 社会教育関係施設 利用状況

■町民センター

年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
部屋別	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
大ホール	58	881	116	2,909	113	2,766	144	3,455
第1研修室	81	287	79	338	157	655	86	344
和室1・2	482	5,181	249	6,244	251	6,274	263	6,570
第2・3研修室	55	1,091	67	655	65	629	125	1,213
レク室	65	643	83	729	64	611	150	1,385
視聴覚室	2	11	0	0	0	0	0	0
調理室	47	537	44	320	41	311	42	307
茶室	39	172	32	166	37	181	47	236
青少年研修室	12	65						
応接室								
計	841	8,868	670	11,361	728	11,427	857	13,510
使用料(円)	130,098		214,073		98,827		85,833	

※令和4年度より応接室は教育長室となったため貸館していない。

※令和5年度より青少年研修室は新しい学校づくり推進室になったため貸館していない。

■郷土資料館

区 分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開館日数			308	309	304	310
有 料	大 人	個人	142	180	176	192
		団体	0	0	0	0
	小 人	個人	6	5	2	1
		団体	0	0	0	0
	計		148	185	178	193
	使用料合計		17,400	21,900	21,240	23,100
無 料	大人		66	19	22	6
	小人		30	23	14	28
	計		96	42	36	34
合計			244	227	214	227

■青少年柔剣道場

《 柔剣道場 》

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
柔 道	回数	8	8	8	8
	人数	47	75	75	70
剣 道	回数	89	82	82	71
	人数	468	381	381	292
そ の 他	回数	45	45	45	32
	人数	368	272	272	187
合 計	回数	142	135	135	111
	人数	883	728	728	549
使用料(円)		18,840	16,520	14,820	17,420

※使用料に研修室有料分含む

《 研修室 》

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
無 料	回 数	16	9	10	19
	人 数	80	40	52	122
有 料	回 数	0	1	2	2
	人 数	0	2	12	11
計	回 数	16	10	12	21
	人 数	80	42	64	122

■小頼別多目的集会施設利用状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
無料	利用日数	4	7	6	7
	利用人数	41	54	36	50
有料	利用日数	2	0	3	1
	利用人数	30	0	45	20
	使用料	14,360	0	89,460	13,832
合計	利用日数	6	7	9	8
	利用人数	71	54	81	70

《 図書室 》

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開館日数		308	308	303	310
利用者数	一般	980	784	892	959
	中高生	23	24	34	29
	小学生以下	621	450	371	368
	計	1,624	1,258	1,297	1,356
貸出冊数	一般	3,385	2,560	2,457	2,377
	中高生	126	51	75	33
	小学生以下	1,732	1,438	882	841
	道移図書	41	12	30	52
	計	5,284	4,061	3,444	3,303
うち児童書		2,622	2,070	1,658	1,556

■創作活動施設使用状況

利用別	団体名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			備考
		人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	
無料	やまなみ吟社(俳句会)	6	7	42	6	2	12							毎月第3水曜日
	陶芸サークル	6	38	118	5	36	104	7	35	102	11	37	139	8月～10月第2、第4、火曜、水曜
	文化協会													5月
	子ども安全パトロール隊													7月
	パークゴルフ協会会議													5月、11月
	ゲートボール協会会議													
	教育委員会関係行事													放課後子どもプラン
	白百合会													
	中頓別吹奏楽団													
	中頓別駐在所				2	252	504							
	小計	12	45	160	13	290	620	7	35	102	11	37	139	
有料	パークゴルフ協会総会													
	個人1													
	個人2													
	個人3(教育支援活動運営委員会)													
	個人4													
	パークゴルフ協会忘年会													
	ゲートボール協会新年会													
	子ども安全パトロール隊													
	中頓別神社総代会													
	教職員互助会													
	中頓別神社祭典実行委員会													
	中頓別吹奏楽団													
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
使用料計		0			0			0			0			
合計		12	45	160	13	290	620	7	35	102	11	37	139	

■学校開放
《中頓別小学校体育館》

区 分	使用料		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卓球スポーツ少年団	無料	回数	2	0	34	35
※卓球協会と合同で活動		人数	40	0	450	465
フットサル少年団 水		回数	29	32	31	32
		人数	412	312		172
ミニバスクラブ 火(～令和2年度)		回数	34	25	37	35
ミニバス少年団 金(令和3年度～)		人数	1,032	490	725	732
		回数	20	20	11	
中頓別中学校		人数	249	228	130	
教育委員会 (体力テスト会)		回数	2	2	2	
		人数	90	79	64	
スキー少年団	有料	回数				
		人数				
その他		回数				
		人数				
小 計		回数	85	79	115	102
		人数	1,733	1,109	1,369	1,369
バスケットボール協会 火		回数	3	3	33	25
		人数	31	19	396	305
サッカー協会 水		回数	1			
		人数	9			
卓球協会 木	有料	回数	36	39	7	10
		人数	562	629	61	73
スポーツしない会? 土		回数	29	31	28	30
		人数	120	131	139	135
野球部(仮) 金		回数				
		人数				
走友会 月		回数	30	21	9	0
		人数	134	50	18	0
フットサル		回数	21	31	11	10
		人数	202	279	110	105
その他	有料	回数				
		人数				
長寿園		回数				
		人数				
小 計		回数	99	94	77	65
		人数	856	829	614	513
合 計		回数	184	173	192	167
		人数	2,589	1,938	1,983	1,882
使用料(円)			36,500	32,360	48,300	22,080

■社会体育施設
《町民体育館団体利用状況》

区 分	使用料		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ゲートボール協会 (月・水・木・日)	有料	回数	100	107	102	103
		人数	486	618	592	555
卓球愛好会 月・火・木		回数	57	61	52	42
		人数	109	119	104	105
バレーボール協会 月・木		回数	40	43	36	34
		人数	536	507	496	483
育児婦人運動部 火・金		回数				
		人数				
ミニバレー愛好会 水		回数	41	43	47	49
		人数	372	388	487	564
なかとんバレー 金	有料	回数	0	0	0	20
		人数	0	0	0	386
パークゴルフ協会		回数				
		人数				
バドミントン愛好会 火		回数				
		人数				
スポーツしない会? 土		回数	4	4	4	4
		人数	18	13	13	33
卓球協会 土		回数				
		人数				
走友会 月・火	無料	回数				
		人数				
その他		回数	2	14		
		人数	2	14		
小 計		回数	244	272	241	252
		人数	1,523	1,659	1,692	2,126
中頓別中学校	無料	回数	39	30	22	11
		人数	219	203	60	64
小 計		回数	39	30	22	11
		人数	219	203	60	64
合 計		回数	283	302	263	263
		人数	1,742	1,862	1,752	2,190
使用料(円)			125,510	134,350	134,550	146,075

■山村水泳プール

年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開館日数			65	65	58	60
時間 帯別	午前	大人	95	72	44	104
		小人	228	179	201	299
	午後	大人	186	151	84	96
		小人	554	425	380	242
	夜間	大人	14	29	25	20
		小人	32	22	21	28
料 金 別	有料	午前	56	17	17	30
		午後	126	89	84	65
		夜間	0	0		
	無料	大人	466	433	532	123
		小人	450	316	299	569
		人数計	1,098	855	932	787
使用料(円)			18,200	10,200	11,500	8,000

■寿野外レクリエーション施設

《寿スキー場 リフト券販売状況》

区 分	対 象		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
シーズン券	大人	13,000	69	897,000	68	884,000	68	884,000	55	741,000
	高校生以下 60歳以上	7,000	80	560,000	84	588,000	91	637,000	99	693,000
回数券 (11回券)	大人	1,300	408	530,400	254	330,200	480	624,000	414	538,200
	高校生以下 60歳以上	800	246	196,800	245	196,000	290	232,000	227	181,600
1 日 券	大人	1,950	271	528,450	206	401,700	254	495,300	275	536,250
	高校生以下	1,200	110	132,000	160	192,000	273	327,600	207	248,400
1 回 券	大人	130	213	27,690	213	27,690	286	37,180	245	31,850
	高校生以下 60歳以上	80	110	8,800	110	8,800	190	15,200	124	9,920
団 体		1,300	0	0	0	0	0	0		
		800	0	0	0	0	0	0		
その他	ハトロール員	8,000	5	40,000	5	40,000	6	48,000	6	48,000
	大人減免	130	65	8,450	65	8,450	33	4,290	119	15,470
	高校生以下減免	80	412	32,960	412	32,960	157	12,560	372	29,760
	学校授業大人	780	175	136,500	175	136,500	204	159,120	210	163,800
	学校授業小人	480	757	363,360	757	363,360	711	341,280	606	290,880
計				3,462,410		3,209,660		3,817,530		3,528,130
合計				3,462,410		3,209,660		3,817,530		3,528,130
営業日数/リフト輸送人員			81日/56,350人		76日/55,227人		75日/55,274人		84日/46,441人	

※月別リフト輸送人員

	R4	R5	R6	R7	営業日
12月	7,530	6,025	7,225	6,398	12
1月	24,274	21,946	20,960	21,250	31
2月	17,209	19,261	19,336	13,728	28
3月	7,337	7,995	7,753	5,065	13
計	56,350	55,227	55,274	46,441	84

《 パークゴルフ場 》

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
シーズン券町内	4	16,000	41	164,000	36	144,000	38	152,000
シーズン券町外	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	4	16,000	41	164,000	36	144,000	38	152,000
1日券町内	162	32,400	173	34,600	172	34,400	88	17,600
1日券町外	280	84,000	449	134,700	594	178,200	516	154,800
小計	442	116,400	622	169,300	766	212,600	604	172,400
合計	446	132,400	663	333,300	802	356,600	642	324,400

《 テニスコート 》

区分		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
区分	使用料	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
町内	200	3	600	3	600	5	1,000	6	1,200
町外	300	15	4,500	16	4,800	74	22,200	39	11,700
計		18	5,100	19	5,400	79	23,200	45	12,900

教育関係団体活動状況

□体育団体関係

令和8年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
スポーツ協会	1	サッカー協会	工藤 正勝	桜田 正考	学園体育館 ふれあいスポーツ広場(夏期のみ)	毎週水曜日	19:00～21:00
	2	バスケットボール協会	古谷 裕一	福島 靖弘	学園体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	3	バレーボール協会	寺島 寛	古谷 真澄 奥山 千秋	町体育館	毎週月・木曜日	19:00～21:00
	4	スキー協会	長尾 祐一	長谷川克弘	寿スキー場	シーズン中	随時
	5	走友会	五十嵐龍彦	五十嵐龍彦	通年 冬期:学園体育館	随時 冬期:月曜日	随時 19:00～21:00
	6	パークゴルフ協会	大西 正夫	内田 昌治	寿公園パークゴルフ場	5～10月 随時	5:00～12:00 13:00～19:00
	7	ゲートボール協会	佐藤 道子	藤井 富子	夏期:メモリアルパーク 冬期:町民体育館	夏期:随時 冬期:日・月・水・木・土曜日	8:30～11:30
	8	野球連盟	今野 真二	星川 慎吾	夏期:ふれあいスポーツ広場 冬期:学園体育館	夏期:月・水・金曜日 冬期:金曜日	18:00～20:00
	9	剣道連盟	十倉 仁	渋谷 義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	10	柔道協会	後藤 敏直	丸山 博光	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	11	卓球協会	長谷川克弘	本間 智久	学園体育館	毎週木曜日	19:00～21:00
スポーツ少年団	1	剣道少年団	渋谷 義深	渋谷 義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	2	柔道少年団	丸山 博光	古谷 裕一	青少年柔剣道場	毎週土曜日	15:00～17:00
	3	卓球少年団	平山 翔一	平山 翔一	学園体育館	毎月1～2回土曜日	10:00～12:00
	4	フットサル少年団	桜田 正考	桜田 正考	学園体育館	毎週水曜日	17:30～19:00
	5	寿スキー少年団	長谷川克弘	野田 繁実	寿スキー場	シーズン中 土・日曜日、祝日	10:00～12:00 又は 13:00～15:00
	6	ミニバスケットボール少年団	石川 章人	石川 章人	学園体育館	毎週金曜日	17:30～19:00
愛好会・サークル	1	卓球愛好会		武田 静子	町体育館	毎週月・火・木曜日	13:00～15:00
	2	なかとんバレー	河津新太郎	河津新太郎	町体育館	毎週金曜日	19:00～21:00
	3	バドミントン愛好会		五家 幸恵	町体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	4	ミニバレーボール愛好会	寺島 晴代	奥山 千秋	町体育館	毎週水曜日	19:00～21:00
	5	育児婦人運動部	休会中				
	6	スポーツしない会?	長谷川克弘	本間 智久	学園体育館	毎週土曜日	19:00～21:00

教育関係団体活動状況

□文化関係団体

令和8年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
文化 協 会	1	やまなみ吟社(俳句)	高橋恵美子	高橋恵美子	創作活動施設ゆめくらぶ ※12～3月町民センター第1研修室	毎月第3水曜日	19:00～21:00
	2	日本詩吟学院岳風会 中頓別支部(詩吟)	小林奈々子	小林 嘉治	町民センター第1研修室	月1回	13:00～15:00
	3	日本習字中頓別教室	権城 豊美	権城 豊美	代表自宅	随時	
	4	茶道サークル	石井 佳美	石井 佳美	町民センター茶室	隔週火・土曜日	13:00～15:30
	5	東海林社中(華道)	休会中				
	6	陶芸サークル	菅原 裕子	高口 智子	創作活動施設ゆめくらぶ	5月～11月 第2・第4火・水曜日	13:00～15:00 19:00～21:00
	7	絵手紙クラブ	高橋 妙子	高橋 妙子	青少年柔剣道場研修室	第2・第4水・木曜日	水 19:00～21:00 木 13:00～15:00
	8	ミックスグループ	休会中				
	9	あかねカラオケサークル	休会中				
	10	知足会(茶道)	休会中				
	11	しあわせカラオケ会	解 散				
	12	彩北絵画クラブ(絵画)	東海林繁幸	東海林繁幸		随時	
	13	囲碁愛好会	岩田 利雄	杉本 吉春	町民センター 出演者控室	10月～3月 毎週火・木曜日	13:00～16:00
	14	中頓別吹奏楽団	水野 秀洋	水野 秀洋	創作活動施設ゆめくらぶ 町民センター 大ホール	毎週水曜日	18:00～21:00
	15	和太鼓団―雪峯―	パシオン・ダリン・英男	パシオン・ダリン・英男	町民センター 大ホール(ステージ)	毎週火・木曜日	火 18:45～21:00 木 19:00～21:00
	16	e-CA	石井 友法	石井 友法	町民センター レク室	月1回	19:00～21:00
	17	竹細工サークル	植村 友貴	植村 友貴	町民センター 大ホール	月1回	
	18	中頓別ミュージッククラブ	石黒 和浩	石井 友法	町民センター レク室	毎週水曜日	19:00～21:00
	19	羊毛の集い―ネオスピン会―	石井 未果	田邊 奈月	夏季:元駐在所 冬季:モトマツダ	夏季:毎週日・月曜日 冬季:毎週日曜日	10:00～15:30

□その他教育関連団体関係

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	主な活動内容
そ の 他	1	読み聞かせボランティア サークル「このゆびと〜ま れ」	太田 美千代	郷土資料館	青少年柔剣道場研修室(和室)	絵本の読み聞かせ等のボランティア活動